



活動予定カレンダー

TKC SCHEDULE

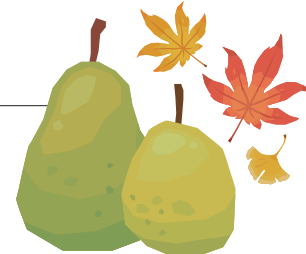
令和7年 11月			令和7年 12月			令和8年 1月		
日	曜	活動予定	日	曜	活動予定	日	曜	活動予定
1	土		1	月		1	木	元日
2	日		2	火		2	金	
3	月	文化の日	3	水		3	土	
4	火	巡回監査士試験	4	木	正副会長会 札幌東西支部例会	4	日	
5	水	リスクマネジメント制度推進委員会	5	金	リスクマネジメント制度推進委員会	5	月	
6	木	帯広支部例会	6	土		6	火	
7	金	正副会長会 総務委員会 書面添付推進委員会 旭川支部例会	7	日		7	水	
8	土		8	月	システム委員会 農業経営研究会研修会	8	木	
9	日		9	火	帯広支部例会	9	金	
10	月	中小企業支援委員会 租税判例研究会	10	水	小樽支部例会 北見支部例会	10	土	
11	火	巡回監査士補試験 空知支部例会	11	木		11	日	
12	水		12	金		12	月	成人の日
13	木	NMフォーラム	13	土		13	火	
14	金	NMフォーラム 北医研修会	14	日		14	水	
15	土		15	月	NMS委員会 NMフォローセミナー	15	木	
16	日	資産活用委員会大和部会 視察研修旅行(～18日迄)	16	火		16	金	
17	月	巡回監査・事務所経営塾	17	水		17	土	
18	火	資産対策研究会 小樽支部秋季大学実行委員会	18	木		18	日	
19	水		19	金	理事会	19	月	
20	木		20	土		20	火	正副会長会
21	金		21	日		21	水	企業防衛制度推進委員会
22	土		22	月		22	木	資産活用委員会 研修会
23	日	勤労感謝の日	23	火	NM実務セミナー	23	金	
24	月	振替休日	24	水		24	土	
25	火		25	木		25	日	
26	水	原点の会(会員)	26	金		26	月	理事会 新春講演会・新年交礼会
27	木	原点の会(職員)	27	土		27	火	
28	金		28	日		28	水	
29	土		29	月		29	木	
30	日		30	火		30	金	ウィンターセミナー
			31	水		31	土	ウィンターセミナー

※主な行事を掲載しています。日程が変更となることもありますので個別案内をご確認ください。

TKC北海道

かいほう

2025.11.19
第262号



Chance, Change and Challenge

TKC HOKKAIDO

TKC北海道会広報委員会

札幌市中央区北3条西3丁目1大同生命札幌ビル13階
TEL(011)222-8505 FAX(011)222-8622
https://www.tkc.jp/hokkaido



発行責任者/本間 貴久 編集責任者/坂本 文彦 印刷所/株式会社メディアプラネット



第47回TKC北海道会秋季大学in函館

CONTENTS

●秋季大学	25
第47回TKC北海道会秋季大学in函館 開講式	02
基調講演	04
特別講演	06
美馬のゆり先生 書籍のご紹介	08
懇親会	09
合同夕食会	11
ゴルフコンペ	12
●就任のあいさつ・退任のあいさつ	
TKC北海道会 副会長 駒井 桂伺	13
リスクマネジメント制度推進委員会 委員長 岩田 圭史	14
小樽支部 支部長 西 正則	15
リスクマネジメント制度推進委員会 前委員長 佐々木雅敏	16
小樽支部 前支部長 鈴木 崇史	17
空知支部 前支部長 八幡 吉昭	17
●TKC北海道会 役員名簿	18
●TKC北海道会第53回定期総会が開催されました	20
●金融機関との合同研修会&懇親会を行いました	21
●トップ対談開催報告 帯広信用金庫×TKC北海道会	22
●トップ対談開催報告 稚内信用金庫×TKC北海道会	23
●「金融機関交流会」開催報告	24
●書面添付プレミアムセミナー開催報告	25
●自計化ステップアップ研修会(OMS編)	26
●推進会議見学会レポート	28
●早期経営改善計画策定支援NEWS	30
●道内金融機関MIS対応状況一覧表	31
●モニタリング情報サービスNEWS	32
●令和7年書面添付実践件数	34
●支部例会・研修会だより	36
●原点の会	42
●汗・笑・挑戦 つかみとれTRC!(-1)(非公認)	43
●あの人は今	47
●知って得するTKCシステム	48
●令和7年10月 株式会社TKCの支援体制	49
●北海道会 会務動向	50
●新入会員	51
●編集後記	51
●活動予定カレンダー	52
eひと・eはなし	
●北海道SCGサービスセンター/丹野 宏亮	19
●帯広SCGサービスセンター センター長/有川 哲雄	27

第47回TKC北海道会秋季大学in函館 開講式

10月3日(金)、函館国際ホテルの会議室「高砂」において、メインテーマ「未来思行」※サブテーマに「近未来を思い、行動しよう」と題して、第47回TKC北海道会秋季大学in函館が開催されました。

冒頭に「ともに未来へ」の動画が流された後、中村博信会員の司会で、開講式が始まりました。

まず、本間貴久会長より、「今回290名を超える会員、職員、提携・協定企業の皆さまにご出席いただき、盛大に開催されることとなりました」と、主催した函館支部の会員に、感謝の意が伝えられました。そして「TKCの運動方針を遂行するためには、全ての会員・職員が共感して進めていくことが必要です。また、TKC会計人はTKC会計人の基本理念に沿って行動しなければならず、そのためには共に未来を見て、未来を考えていかなければならないと思っています。会員・職員が近未来を思い、行動することで、社会から求められるTKC会計事務所を築いていきましょう」とあいさつされました。

続いて、主催者を代表して蛭子井眞市実行委員長より、「秋季大学が11年ぶり4回目の函館の地で開催されることになりました。『未来思行』『近未来を思い、行動しよう』をテーマに開催いたしましたが、なにがしかの気づきが生まれることを願い、20名の会員で準備してまいりました。秋季大学は学びの場でありますので、基調講演、特別講演でTKC会計人として学んでいただきたいと思います」とお話しされました。

次に、ご来賓を代表して日本政策金融公庫国民生活事業本部北海道地区の阿部賢統轄からお祝いの言葉と共に、本年9月より始まった日本政策金融公庫とTKC全国会で連携した新たな「TKCファストリンク」についてご案内がありました。

その後、北海道税理士会など多くの関係団体や企業からの祝電が披露され、開講式が終了しました。

(広報委員会 舟橋 馨)

※「未来思行」はサブテーマに即した造語です。



本間貴久会長



蛭子井眞市実行委員長



日本政策金融公庫 阿部賢統轄



開講式の様子

今年の秋季大学では、飯塚真規社長（株式会社TKC代表取締役社長執行役員）による「TKCの未来戦略」と題した基調講演が行われました。

冒頭、飯塚社長は会計事務所業界の将来について厳しい見解を示し、「このままでは10年後は存続・存在しているかもしれないが、20年後の存続は危うい」と述べました。その上で、「税理士という職業が社会的に高く評価され、小学生や中学生の“なりたい職業ランキング”に入るほど魅力ある職業になることを願っている」と語りました。

飯塚社長は、会計事務所業界が直面している3つの主要課題として、次の点を挙げました。

- 労働人口の減少による採用難
- 税法の複雑化による賠償リスクの増大
- インフレによる収益性の悪化

これらの課題に対しては、「一人当たりの生産性向上」「システムやAIの活用」「高付加価値サービスの提供による適切な値上げ」が必要であると述べました。

一人当たりの生産性向上

株式会社TKCは、一人当たりの生産性向上のために、事務所内外の業務を分析し、それぞれに対応するサービスを提供しています。特に注目すべきは、月次巡回監査率の高い事務所ほど決算業務の効率が良く、残業時間も少ないというデータです。これらの事務所では、目標管理（KPI）、時間管理システム、スケジューラなどを効果的に活用しています。



飯塚真規社長

システムやAIの活用

AI活用の分野では、次の4つの領域で方向性を示しました。

- TKCシステムへのAI搭載
- 外部AIとの連携
- 顧客向けサービス
- 社内業務への活用

特に注目されるのは、OMSとAIの連携によって、議事録作成や顧客データの検索・分析が容易になる機能です。これにより、事務所の業務効率が大幅に向上することが期待されています。なお、AI活用にあたっては守秘義務に十分配慮し、API※経由でデータを送信する際には、AI側がそのデータを学習しない仕組みを採用しています。

高付加価値サービスの提供による適切な値上げ

次に、会計事務所の高付加価値サービスについても言及がありました。東京商工リサーチの調査によると、経営者の約12%が「自社の決算書の信頼性に疑問を持っている」と回答しており、その理由として「会計士や税理士に任せているから」というものが挙げられています。

飯塚社長は、「『任せているから信頼できる』ではないというギャップがある」と指摘し、書面添付やMIS、中小企業会計要領などの価値を経営者に伝える重要性を強調しました。

また、経営者が「早く・手間なく」業績を把握したいと考えている点に対応し、TKCはクラウドサービスを通じて、経営者が自社の業績をリアルタイムで確認できる環境を提供しています。

さらに、日本政策金融公庫との連携による「ファストリンク」サービスも紹介されました。このサービスを利用することで、TKCシステムを導入している事務所の顧客は、融資判断までの期間が従来の約20日から最短5営業日に短縮されるという大きなメリットがあります。

講演の後半では、国税庁が推進する「デジタルシームレス」への対応、年末調整や法人税別表の改訂など、今後の重要な制度変更についても説明がありました。

最後に飯塚社長は、「社会的変化に対応するためには、事務所の生産性向上とAI活用が不可欠である」と述べました。そして、経営者からの信頼を高めるために、書面添付やMIS、中小会計要領の価値を伝え、融資支援などの高付加価値サービスに取り組むことの重要性を強調しました。国税庁のKSK2システムの稼働や確定申告のデジタル化が進む中で、税理士は経営助言型の業務へとシフトしていく必要があり、TKCはその取り組みを今後も支援していくと締めくくりました。

（広報委員 宮腰 雄太）

※APIとは

アプリケーション プログラミング インターフェイス（Application Programing Interface）の略で、異なるソフトウェアやプログラム同士が通信するための「窓口」や「接点」となる仕組み

秋季大学の特別公演は、美馬のゆり先生による「AI時代へようこそ 技術の進歩と人間性の調和を目指して」というテーマで行われました。

現在、美馬先生は、公立はこだて未来大学において教授として教壇に立っておられます。研究分野は学習科学(情報工学、認知心理学、教育学)です。



美馬先生の実績(公立はこだて未来大学ホームページより)

- 公立はこだて未来大学および日本科学未来館の設立計画策定に携わる。設立後は、大学では教授、科学館では副館長(2003-2006)を務める。
- 副館長任期終了後、函館に戻り地域密着型の一連のイニシアティブを開始。科学コミュニケーション促進と科学リテラシー向上のためのボランティア組織「サイエンス・サポート函館」を2008年に立ち上げる。また、産学官民連携を推進し、地域ブランド商品を研究開発する「函館ハーブ研究会」を2010年に発足。
- NHK経営委員(2013-2016)のほか、中央教育審議会委員、科学技術・学術審議会委員、経済産業省の製品安全に関する審議会委員、北海道科学技術審議会委員などを務めている。

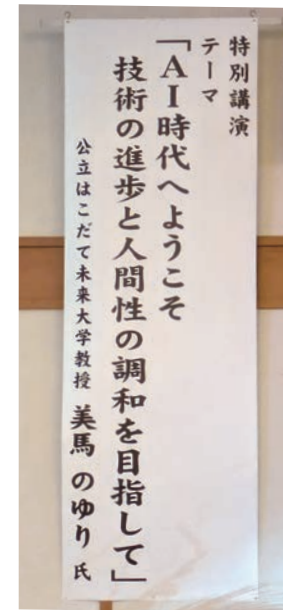
- サイエンス・サポート函館の活動で、平成26年度文部科学大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)を受賞。

美馬先生は、講演の冒頭にTKC全国会の基本理念である「自利利他」にふれ、「自利とは利他をいう利他の真っただ中で自分の喜びと成長を見出す、つまり人のために尽くすということが自分を利することにもつながるという理念と使命は、AI時代にもゆるがない指針である」と述べられております。

「AI時代においても租税正義の実現は不可欠です。職業的専門性は、AIが得意な分野を生かしつつ、しかし最後は人間が責任ある判断を担うということが必要です。また、経営の持続可能性は中小企業の未来をAIと人間の共同で支えていくことがこれからの時代にはとても大事なことでありますが、自利利他はAIを活用していく中でも人間性を失わない羅針盤になる」とのことでした。

今後、さらにAIが発展した社会になっていくものと思われます。AIの発展は社会と職業へのインパクトが大きいです。AIによって税理士業務は代替されるといわれております。

しかし、美馬先生は、AIには得意なこと、不得意なことがあり、万能ではないと述べられております。AIの得意なことは「大量データ処理、パターン認識、計算」、不得意なことは「価値判断、文脈理解、関係性の構築、倫理的配慮」です。ここにAI時代に求められる税理士像があります。つまり、データとAIを使いこなし、顧客の情報を理解し、未来志向の判断を提示していく。そして社会に対する責任説明を果たすことだとしています。



AIは単純作業や定型的な処理に長けている一方で、顧問先とのコミュニケーション、専門的知識を要する業務はできません。AIの長所を活用し業務を効率化させながら、専門性の高い業務を行っていくことが、これからの税理士に求められるものだと私は感じました。

また、美馬先生は、ここで大事なことは、「AIリテラシー」だとも述べられております。リテラシーとは、もともと読み書きの能力とされております。

- 「AIリテラシー」とは以下のことをいいます。
- AIの仕組みやAIの限界を理解すること(生成AIの仕組み、誤りの原因、学習データの偏り)
 - ツールを活用する力の獲得(プロンプト設計〈プロンプトとはAIへ質問すること〉、用途に応じた使い分け、成果物の評価)
 - 利用目的を問う倫理的思考(使うことの意味・影響、使わない判断、信頼と責任)

上記のうち、美馬先生は特に「利用目的を問う倫理的思考」が大事だと述べられております。どこに使うとどこに使わないのか、ただ使えばいいわけではない。この倫理的判断が人を生かす社会につながるとしています。

そして倫理的判断とは1.功利主義(業務改善や成果向上など、会社の利益を最大化できるか) 2.義務論(法的・制度的に正しく、説明可能な判断であるか) 3.徳倫理(判断する人や組織に、誠実さと専門性があるか)であるとしています。この倫理的判断を正しく理解することが重要なのです。

AI時代に生きる私たちは

- AIを恐れず活用する
 - 判断、助言、信頼で価値を創出する
 - 租税正義と中小企業支援という使命を実践する
 - 人に寄り添い、社会に応答する姿勢を続ける
- これらのことが「技術の進歩と人間性の調和を実現するために必要なこと」だと述べられました。

税理士業界は、AIの急速な発展により大きな変革が予想されます。AIが定型的な業務の多くを自動化・効率化する一方で、複雑な税務判断や信頼関係の構築などは不得意です。顧問先に寄り添ったパートナーが求められる場面で、税理士の存在はAIでは代替できません。AIと共存し、AIを活用しながら税理士業務を行っていくことが必要だと、美馬先生の講演を聴き、率直に思いました。今回の講演は、AIが発展していく中で、これからの税理士像の指針を教えていただいた講演となりました。

(函館支部 藤島 明義)



AIの世界へようこそ 未来を変えるあなたへ

○AIの基礎知識がまるごとわかる!

この本では、AIの歴史から最新のAI技術、そして社会にどんな影響を与えるかまで、幅広く紹介しています。これを読めば、AIについての基本的な知識がしっかりと身につきます。また、AIが抱える倫理的な問題や未来の可能性についても触れているので、考えを深めるきっかけにもなります。

○AI時代を生きる次世代の指針となる1冊

AIが進化する時代に、私たちがどのように幸せを追求し、どんな未来を目指すべきかについても紹介しています。AI時代を生きるための大切な考え方を、この本を通じて学ぶことができます。

引用：amazon



AIの時代を生きる 未来をデザインする創造力と共感力

AIの存在感が増し、便利な暮らしへの期待や恐れが高まる一方で、仕事を奪われる不安に揺れる現代人。

人とAIの未来はどうあるべきなのか。

多様な学術的背景をもつ著者が、AIの歴史、その仕組みを解説しつつ、両者にとってよりよい社会のつくり方、さらには一人一人ができることを、「創造力と共感力」をキーワードに語ります。

引用：amazon

特別講演の後、休憩をはさんで懇親会が開催されました。

遺愛女子高等学校の吹奏楽局（通称「愛吹（あいすい）」）による演奏で幕を開けました。愛吹は第70回北海道吹奏楽コンクール・高等学校A編成の部において「金賞」を受賞しており、函館では有名な高等学校です。私も演奏を直接聴くのは初めてでしたが、目の前で見ると迫力があり、ものすごい熱量でした。愛吹の生徒さんたちの今後の活躍を期待しております。なお、活動のための寄付を募集しております。ご支援のほどよろしくお願いいたします。

懇親会の司会進行は、函館支部長田栄吾会員とフリーアナウンサーの仁科美咲さんが務められ、仁科さんは遺愛女子高等学校の卒業生でもあります。

TKC北海道会駒井桂伺副会長による開会のあいさつ、北海道税理士会小形雅晴函館支部長、渡島信用金庫伊藤新吉理事長、大同生命保険株式会社谷口典江取締役執行役員による来賓

あいさつ、積水ハウス株式会社鈴木博久業務執行役員による乾杯の発声で開幕いたしました。

函館国際ホテルのコース料理と共に、道南の名物であるラッキーピエロのハンバーガー、森町柴田商店のいかめし、ジョリクレールのどら焼きなどのお菓子を用意したところ、大人気でたいへん喜んでいただきました。

抽選会は道南地方の特産品を用意し、抽選の番号が発表されるたびに、歓声とため息が入り混じり盛り上がりしました。

最後に、来期の秋季大学開催予定地・小樽支部の西正則小樽支部長のあいさつと、大和ハウス工業株式会社の新谷聡北海道支店長から中締め

のあいさつをいただき、閉会となりました。
懇親会、たいへん楽しく過ごすことができました。いろいろな方と仕事の話はもちろん、ゴルフなどプライベートのお話をするのができ、非常に有意義な時間でした。来年度は小樽での開催です。今から楽しみにしております。

（函館支部 藤島 明義）



遺愛女子高等学校 吹奏楽局（通称「愛吹（あいすい）」）



北海道税理士会 小形雅晴函館支部長



渡島信用金庫 伊藤新吉理事長



TKC北海道会 駒井桂伺副会長



大同生命保険株式会社 谷口典江取締役執行役員



積水ハウス株式会社 鈴木博久業務執行役員



大和ハウス工業株式会社 新谷聡北海道支店長



西正則小樽支部長

秋季
大学

合同夕食会

秋季大学の前日、10月2日(木)18時から20時まで五島軒本店にて合同夕食会が開催されました。

豪雨によりJRが徐行運転で会員数名が定刻に間に合わない事態となりましたが、司会は宮下直樹北海道会総務委員長が務められ、明日の秋季大学開催に対する意気込みを踏まえて蛭子井眞市函館支部長から開催のあいさつがありました。

11年前は函館山のレストランを貸し切り、日本三大夜景に数えられる眺望絶景な夜景も楽しみましたが、今年は人で溢れかえり一切予約不能で、他の代替案も修学旅行生で一杯、実行委員会の交渉の末、ようやく歴史あるこの五島軒本店での開催となりました。余談として、当初紙コップや紙皿などやわらかい食器の案が浮上、なんとか普通のコップや皿が並ぶ手筈となったということでした。

続いて、飯塚真規株式会社TKC代表取締役社長から明日の開催に向けてのあいさつがあり、システムにAIを導入し、AIについては今までの完成品を提供するスタイルではなく、プロトタイプベースで提供しフィードバックをいただきながらブラッシュアップしていくという話を伺いました。

次に、本間貴久会長による乾杯のご発声で祝

宴へと移りました。本間会長は、函館支部の秋季大学実行委員会に複数回出席したところ、まず本日開催の前夜祭の打ち合わせから始まっており、前夜祭への意気込みが感じられ、五島軒函館カレーなどさまざまなものが用意されており大いに期待できると話されました。

本間会長のお話通り、特設コーナーでは、こだわりのブイヨンが自慢の五島軒人気ナンバーワンカレーであるイギリス風ビーフカレーと五島軒伝統のコーンポタージュ、その隣にはミニケーキ、コース料理・お酒といずれも大変好評でした。

最後に、フロンティアプロジェクト・企業防衛推進委員会からの案内の後、駒井桂伺副会長より中締めあいさつをいただき、明日の秋季大学へ向けての前夜祭は盛況のうちに閉会となりました。

(広報委員会 谷口 卓弥)



五島軒本店



イギリス風ビーフカレー



合同夕食会の様子

10月4日(土)七飯町西大沼にあります北海道カントリークラブ 大沼コースにて、参加者32名(会員21名、提携・協定企業と会員職員11名)によりゴルフコンペを開催いたしました。

当ゴルフコースは今年8月28日から31日までの間、ニトリレディスゴルフトーナメントが開催された場所でもあり、秀峰・駒ヶ岳を望む大自然の中にある、歴史と戦略性を兼ね備えた丘陵コースです。

当日は皆さまの日頃の行いの良さか、天候にも恵まれ、まさにゴルフをするためにあるような一日でした。蛭子井眞市支部長のあいさつで始まったゴルフコンペは、最高の天候のおかげで気分も上がり、最初のドライバーショットにも良い影響があったように感じます。それぞれの組ではメンバー同士の会話も弾み、忘れられない一日だったことかと思えます。

私はゴルフを始めて4年目です。まだまだこれからですが、何度も回っているコースです。不甲斐ない成績を残せないというプレッシャーの中でしたが、

17位(前半53後半53合計106)という結果で終了できたので、私的には満足のいくものでした。全体的には、前日の懇親会の疲れなのか、初めてのコースのせいなのか、苦勞していた方が多かった感じがしました。皆さまお疲れさまでした。

ラウンド終了後、コンペルームで表彰式が賑やかに執り行われ、ニアピンなど各種アトラクションや順位賞の受賞者の方々には豪華賞品が当たり、大変喜んでいただきました。今回賞品を提供していただきました皆さまには、改めてお礼申し上げたいと思います。なお、今回の優勝・ベスグロ賞は共に函館支部の西谷裕幸会員でした。おめでとうございます。

おわりに、今回のTKC北海道会第47回秋季大学in函館／親睦ゴルフ大会が無事に終了できたことに感謝し、参加いただいた皆さまには、大変お忙しい中、参加くださいましたことに厚くお礼申し上げます。

(函館支部 藤島 明義)



副会長就任のあいさつ

TKC北海道会 副会長 駒井 桂伺

TKC北海道会の皆さま、十数年ぶりに帰って来ました駒井です。若い会員にはどんな人？ベテランの会員には今更感があると思いますが…。

そもそも副会長になった経緯ですが、本間貴久会長から突然ラインが入り、「TKC北海道会の仕事を手伝ってもらう事は不可能でしょうか？」と、不可能かと言われれば不可能ではない、私は「もちろん気持ちはあります、具体的にどのような仕事でしょうか？」と返すと、なんと副会長！LINEを見ながら固まってしまった。そこで自分的に結論が出ず、S副会長に相談すると、「一緒に頑張ろう！」と、今考えれば相談する相手を間違えたと思いますが……。

本年7月にめでたく還暦を迎えました。赤いちゃんこを着るにはまだ少々抵抗がありますが(笑)、これまで多くの方に支えられて今日を迎えられたことに、心から感謝申し上げます。

私の人生のテーマは「なりたい自分になる！」。趣味は「ゴルフ」です。どちらもまだ道半ばですが、



これからは副会長という立場で、会員の皆さまと手を取り合い、激しく変化する時代の中でも「安心して頼れるTKC北海道会」築いてまいりたいと存じます。

どうぞ今後とも温かいご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げ、副会長就任のあいさつとさせていただきます。

委員長就任のあいさつ

リスクマネジメント制度推進委員会 委員長 岩田 圭史

TKC北海道会の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。
リスクマネジメント制度推進委員会委員長を拝命しました岩田圭史です。私の経歴については、ネットで「TKC 開業 後悔」とか「税理士 独立 後悔」とか、とてもひどいワードで検索すると、私の紹介ページがヒットしますので、興味を持たれた方はぜひ検索をお願いします。

このたび、佐々木雅敏前委員長をはじめたくさんの方からいろいろなお声がけをいただいたため、「天の声に従います!」と申し上げ、天の声に従ったところリスマネ。しかし、今までリスマネ活動とは無縁の私がリスマネ委員長なんて、今も天の声の信頼性は高いものなのか心配で仕方がありません。

さて、リスマネ委員長就任にあたって自分とリスマネについて考えたところ、いろいろなことが思い浮かびました。

趣味のスキーで大怪我リスク、ランニングによる熱中症リスク、スキー&ゴルフ用品を壊して携行品破損リスク、自転車とランニングで歩行者に衝突して賠償リスク、躊躇(ちゅうちょ)しない採用活動で労務トラブルリスク、引越が多くて借家人賠償リスク、提携企業とのトラブルリスク。でも、残念ながらゴル



フでのホールインワンリスクは今のところ期待できない…。

こんなリスクまみれで本当に大丈夫なのだろうか。これではリスクをマネジメントする委員長ではなく、リスク推進委員長だ。リスマネという天の声は、「隗(かい)より始めよ」の故事に倣い、まずは自分のリスク対策に取り組みなさい、とのありがたいお言葉なのでしょうか。

「おまえがリスマネ委員長に就任しておること自体がTKCのリスク」と早く言われるよう、これからリスマネを小ネタにぶっこみつつ笑いのとれるTKC活動をしていきたいと思っています。

小樽支部長就任のあいさつ

小樽支部 支部長 西 正則

本年のTKC北海道会小樽支部の第51回定期総会にて再び支部長の任を拝任いたしました。以前3期6年にわたり支部長を務めた後、鈴木崇史会員と交代して今に至っておりますが、鈴木会員を税理士会副会長として送り出すこととなり、気持ち良く送り出すために再び支部長の任に就くこととなりました。

さて、今後の小樽支部ですが、令和8年度に行われる第48回秋季大会を担当することになり、令和8年10月8日(木)にグランドパーク小樽の会場を確保しました。小樽支部としては平成23年の第35回以来、15年ぶりの秋季大会となります。

支部長に就いた途端にこのような大任を任されて身の引き締まる思いです。

今後、実行委員会を立ち上げ、開催の準備を進めてゆくこととなりますが、少人数の支部なので、支部会員で一致協力して取り組まなければならないため、その環境作りが責務と思っております。



また、例年行っている潮まつりへの参加も引き続き行う予定です。

ぜひとも踊りに参加したい方は支部までお知らせください。どうぞよろしくお願いいたします。

委員長退任のあいさつ

リスクマネジメント制度推進委員会 前委員長 佐々木 雅敏

この度、3期6年務めさせていただきましたリスクマネジメント制度推進委員会委員長を退任いたしました。

委員長に就任するまでリスクマネジメント制度推進委員会に所属したことがなく、ほとんど何もわからずに委員会活動を開始しましたが、委員会メンバー・理事の皆さまの他、事務局、提携損害保険会社および提携プロ代理店の皆さまのご協力・ご支援により、何とか6年間過ごさせていただきました。心から感謝申し上げます。

この6年間で一番の思い出は令和5年9月13日にTKC全国会リスクマネジメント制度推進委員会委員長の中嶋司会員を講師に迎えてセミナーを開催したことです。そのセミナーには100名近くの会員・職員・提携協定先の皆さまに参加いただきました。TKC北海道会リスクマネジメント制度推進委員会単独開催の研修会としては過去最大規模となりました。参加の皆さま、ありがとうございました。

さて、私が委員長に就任して6年の間にリスクマネジメント制度推進委員会の活動も大きく変化しま

した。委員長就任後およそ4年間(うちおよそ3年はコロナ禍でしたが)は代理店拡大と業績アップの2大活動をメインにしていたのですが、直近2年間は損害保険会社への業務改善命令等の影響により、損保会社毎の部会活動にシフトしていくこととなり、また新規代理店登録のハードルが年々上がり続け、現在ではほとんど新規代理店登録が難しい状況になっております。

さらに最近は「自己点検チェックシート」の提出など代理店を続けるにもかなりの労力を有するようになってきました。しかし、われわれTKC会員事務所が経営助言の一つとして関与先の完全防衛のため、リスクマネジメント指導に取り組むことに変わりはありません。ぜひ関与先のためのリスクマネジメント指導を推進していただきたいと思います。

最後になりますが、今後のTKC北海道会およびリスクマネジメント制度推進委員会のご発展・ご活躍を祈念いたしまして退任のあいさつとさせていただきます。6年間本当にありがとうございました。

小樽支部長退任のあいさつ

小樽支部 前支部長 鈴木 崇史

小樽支部支部長を2期4年務め、本年7月に退任いたしました鈴木です。

支部長在任中は例会や総会の開催に努めるとともに、潮まつりや新年会などの恒例行事を通じて会員交流を深めてまいりました。今年の全国支部長会議では、TKC北海道会本間貴久会長のご推薦により特別賞を受賞し、活動事例を発表する機会もいただきました。

今までの皆さまのご協力に感謝を申し上げるとともに、今後は副支部長として支部に関わってまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。



空知支部長退任のあいさつ

空知支部 前支部長 八幡 吉昭

空知支部支部長を2期4年務めさせていただきました。令和3年7月に就任した時にはまだ新型コロナウイルス感染症が流行っており、支部例会を完全オンラインで行うなど支部運営に苦労した覚えがあります。

当時はTKC全国会や地域会の会務運営等全くわからない状態でしたが、支部長になったおかげでいろいろ勉強させていただきました。頼りない支部長で支部会員の皆さまに支えていただいた4年間だと思っています。また、理事の皆さま、そしてセンター長をはじめTKC社員の皆さまには大変お世話になり、誠にありがとうございました。



TKC北海道会 役員名簿 令和7年7月現在

順不同・敬称略

顧問 (5名)	千葉寛樹 藤田時人 加藤恵一郎 金坂和正 田中裕之			
相談役 (9名)	川井一男 奥山昌弘	上田宣政 寺田 勉	名越隆雄 斎藤雅昭	上原 貢 佐藤伸泰
参 与 (1名)	井山 等			
会 長	本間貴久			
副会長 (6名)	小中昌幸 菅野 浩	甲賀伸彦 駒井桂伺	澤田忠宏 宮下直樹	
理 事 (27名)	総務委員長	宮下直樹(兼任)	札幌東支部長	市川 善明
	システム委員長	吉田 幸広	札幌西支部長	清水 啓雅
	北海道研修所長	佐藤 孝尚	小樽支部長	西 正則
	企業防衛制度推進委員長	八森 恵一	函館支部長	蛭子井眞市
	リスクマネジメント制度推進委員長	岩田 圭史	空知支部長	木村 聡
	巡回監査・事務所経営委員長	蝦名 和広	旭川支部長	實吉 孝範
	書面添付推進委員長	南 優香	北見支部長	渡邊 直喜
	ニューメンバーズ・サービス委員長	住吉 赴夫	帯広支部長	砂原 政広
	広報委員長	坂本 文彦	釧路支部長	鈴木 圭介
	中小企業支援委員長	湯谷 和彦	苫小牧支部長	柴山 太一
	共済制度推進委員長	柳川 英樹	理 事	小川 裕也
	資産活用委員長	小中昌幸(兼任)	理 事	薄井タカ子
			理 事	八島 依子
監 事 (2名)			理 事	池脇 竜太
			理 事	平田 清悦
			理 事	黒田 納規
			理 事	佐藤 博嗣
	岡崎正毅 鈴江 誠			

eひと・eはなし

これまでとこれから



北海道
SCGサービスセンター
丹野宏亮
Hiroaki Tanno

10月より北海道SCGサービスセンター長を拝命しました丹野宏亮(たんのひろあき)と申します。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

初めての地域会担当として、北海道会を

担当できるご縁をいただけたことに感謝しながら、私の自己紹介をさせていただきます。

1. 学生時代まで

出身は宮城県仙台市になります。

幼稚園では女優の鈴木京香さんと同じ幼稚園でした。残念ながら世代が少し違うため、「初恋の相手が鈴木京香」とはなりませんでしたが、小学校と中学校ではサッカー少年で、毎回大敗する弱小チームのキャプテンとして、「弱い立場の気持ちを理解する心」を学ぶことができました。

大学では経営学を専攻しました。当社に最も必要なスキルである簿記やITの単位がことごとく取れず、今も当社で働いているのが不思議なくらいです。なお、大学のサークルでも鈴木京香さんの所属していたサークルに入りましたが、決して追いかけたわけではございません。

就職活動においては、就職氷河期の氷が解け始め、またリーマンショックの前というラッキーな時期でしたので、ありがたいことにいくつかの選択肢に恵まれた中で悩むことができ、最終的に当社に決めました。人生の中で最も良い判断ができたターニングポイントであったと今でも感じます。

2. TKCに入社してから

最初の配属は、SCGとして東京都心会の担当センターでした。『不撓不屈』の映画が公開された年でしたので、最初の社内会議で「何枚のチケットを担当するか」という議論を聞いて、最初は会社を間違えたかと思いました。1年後、東京中央会の担当センターに異動となり、そこでは7年間を過ごしました。

その後、静岡会担当の浜松センターに異動し、SCGとして4年間、センター長代理として3年間を過ごしました。坂本孝司全国会会長の事務所を担当させていただけた大変ラッキーな社員です。

そこから地元を通り越えて北上し、秋田センター長として3年過ごしました。20年目の社員としては、これまで珍しいほど転勤の少ない社員人生を歩んできました。今思えば、受け入れ先が見つからなかっただけなのかもしれません。

3. 北海道にて

北海道は、昔に姉が苫小牧に住んでいたこと、親友が札幌に住んでいることもあり、大学時代に何度か来たことがありました。また、秋田センター長時代に、今後は北海道に行ける機会も減ると思い、今年に入って小樽や富良野に行きましたが、予期せぬ形で異動先の下見になってしまいました。

執筆している10月中旬、ごあいさつさせていただいた会員の皆さまを通して、北海道の広大な地域にも勝る北海道会の大きな包容力と一体感があり、大きな職責と使命感と共に、心強くも感じております。担当させていただく3センターの社員一同、皆さまを精一杯ご支援させていただきます。今後ともご指導ご鞭撻(べんたつ)のほど、よろしくお願いいたします。

TKC北海道会第53回定期総会が開催されました

9月19日(金)定刻午後1時よりホテルモントレーエーデルホフ札幌で、TKC北海道会第53回定期総会が開催されました。

開催当日現在の会員数は456名であり、うち当日本人出席58名、事前に議決権行使書をご提出いただいた会員総数は258名となり、総会は成立する旨の報告がありました。

議事に先立ち、菅野浩副会長から物故会員への黙とうが行われ、また、駒井桂伺副会長からは新入会員28名の紹介が行われました。

本間貴久会長が仮議長となり、議長の選出を行いました。会則第14条第4項により、「議長は、出席した個人会員の中から選出する」ということで、会場の執行部一任との一声により、議長には札幌東支部佐々木雅敏会員が選出され、議事録署名人に札幌西支部竹内美哉会員、札幌西支部堀内信吾会員の2名の会員が選出された後、審議が進められました。

第1号議案 令和6年度の事業報告並びに 決算報告承認の件

宮下直樹総務委員長から一括して、事業報告と収支計算書について、本年度は厳しい予算の中おおむね予算額内での活動となったこと、その中で共済制度推進委員会の予算超過の件について説明がありました。

第2号議案 令和7年度の事業計画(案) 並びに収支予算(案)承認の件

本間会長からの基本方針および重点施策について説明があった後、各委員長等より事業計画、宮下委員長より収支予算について説明がありました。それに対し、予算建てされている、今回の全国役員大会にかかる北海道新聞の広告について、

理解はできるが、今からでも会員の協賛金を集める努力をしてほしいなど、厳しい意見もありました。

いずれの議案についても事前に会員からお送りいただいた議決権行使書の多数に賛成の旨が記載されているとの説明があり、賛成多数により可決承認されました。

議案承認の後の報告事項では、まず会員表彰が行われ、戸井三雄会員には「TKC全国会入会50年表彰」、退任された役員、入会30年、15年表彰の会員へ感謝状と記念品が贈呈されました。また、支部表彰では、長年の潮まつりへの参加などから小樽支部が特別表彰を受けました。

その後の支部活動報告で代表して、函館支部の蛭子井眞市支部長より事業報告、活動報告などがありました。

委員会報告は、TKC強化プロジェクトの『MIRAIプロジェクト』について、田中裕之リーダーから積極的な参加の呼びかけがありました。また、来年の秋季大会開催地の報告があり、小樽支部西正則支部長よりあいさつをいただきました。

最後に閉会のあいさつを澤田忠宏副会長が行い、今年度の総会是一部予算執行に関して課題を残しましたが、大きなトラブルもなく無事に終了いたしました。

また、定期総会終了後、引き続き北海道政経研究会定期大会が加藤恵一郎会長、斎藤雅昭幹事の進行により開催されました。

議案については、議決権行使書に賛成の旨の記載が多数あり、すべての議案が承認可決され滞りなく無事に終了いたしました。

(広報委員長 坂本 文彦)

金融機関との合同研修会&懇親会を行いました

9月19日(金)、TKC北海道会定期総会終了後、同じホテルのモントレーエーデルホフ札幌にて金融機関との合同研修会&懇親会が開催されました。研修会では神戸大学経済経営研究所 家森信善教授・博士による「地域金融機関における事業性評価の高度化にむけて—信頼できる決算書の見極めと決算情報のデジタル活用—」と題し、講義いただきました。

金融機関は事業性評価を推進するために①公認会計士および税理士との連携を認識していること、②正確な決算書が経営上の有用性を認識していること、③事業性評価の実施の課題解決にはTKCモニタリング情報サービス(以下、MIS)の活用が望ましいことを強調されました。

また、TKC会員事務所がMISで信頼性の高い決算書等を提供できるのは、①税務署に提出した内容と同じ決算書等が自動的に金融機関へ送付されるため改ざんの余地がない、②TKC会員は毎月、関与先企業を訪問し、会計資料並びに会計記録の適法性正確性および適時性を検証し、月次決算を行っている、③「中小会計要領チェックリスト」、



神戸大学経済経営研究所 家森信善教授・博士

「税理士法第33条の2第1項に規定する書面添付」、「記帳適時性証明書」による決算書の信頼性確保ができていることを説明し、MISを活用すれば、金融機関は付加価値のある事業性評価に専念できると会員および金融機関へ訴えられました。

余談ですが、新聞でMISの広告を見た家森教授が全国会へ問い合わせたところ、MISの説明に来られたのが坂本孝司TKC全国会会長だったとのことで大変驚かれておりました。

研修会終了後は、懇親会会場に場所を移し金融機関との交流を深めました。

(事務局長 藤木 竜也)



合同研修会の様子



懇親会の様子

9月11日、帯広信用金庫本店にて「**帯広信用金庫とTKC北海道会**」とのトップ対談が開催されました。



【トップ対談 出席者】 （敬称略）

帯広信用金庫
理事長 中田 真光
常務理事 小山 賢一

TKC北海道会
会長 本間 貴久
中小企業支援委員会
帯広支部
委員長 竹川 博之
副委員長 竹川 靖之
帯広支部支部長 砂原 政広

1. 会長・理事長のあいさつ

【本間貴久会長】

TKCモニタリング情報サービス（以下、MIS）の覚書締結金融機関とトップ対談をさせていただいています。私たちはMISだけのつながりではなく「**金融機関と一緒に何かできないか**」ということを常に考えています。今、力を入れているのが行職員向け研修会の開催です。金融機関の若い職員にどのように決算書ができるのか知ってもらいたい、でき上がった決算書は目にしているが、決算書ができる過程でわれわれTKC会員事務所が何をしているかは見えていないと思います。行職員向け研修会は後ほどお話しさせていただきます。また地域密着という点では地元企業を守るというところを意識しています。**地元の金融機関と一緒に、企業を守っていく取り組みができればと思います。**本日はよろしくお願いいたします。

【中田真光理事長】

私たちは伴走型支援に力を入れております。リレーションシップは極めて重要な要素だと考えております。税理士の皆さまにお力添えいただきながら顧客支援にあたっていきたいと思っています。
本日はよろしくお願いいたします。

2. トップ対談やりとり、一部抜粋

- ①竹川委員長：地元の企業のためにMIS利用企業を優遇した融資に関する商品を作ってはどうか？
- ②小山常務理事：ちょうど審査のクイックレスポンスについて検討していたところでした。
- ③中田理事長：ぜひ検討しましょう。
- ④竹川委員長：行職員研修をぜひご検討いただきたい。地域的にはTKC帯広支部が支援するので、遠慮しないで欲しい。支部例会にも参加いただきたい。
- ⑤中田理事長：行職員研修はぜひとも検討したい。
- ⑥砂原支部長：決算書がどのようにでき上がっているのか、記帳適時性証明書、書面添付の見方も勉強会で伝えたいと思います。

3. トップ対談での検討事項

1. 行職員向け研修会の開催に合意 【開催時期は担当者と調整】
2. クイックレスポンスの検討

TKC北海道会

9月18日、稚内信用金庫本店にて「**稚内信用金庫とTKC北海道会**」とのトップ対談が9年ぶりに開催されました。前回の対談から時間が経過しておりましたので、改めて双方の取り組みを確認しながら意見交換が行われました。



【トップ対談 出席者】		（敬称略）
稚内信用金庫	理事長	増田 雅俊
	営業戦略センター長/ 常務理事	志摩 隆宏
	審査部長 理事	田中 慎司
	営業戦略副センター長	竹達 敏生
	審査部 副部長	畑野 敦志
TKC北海道会	会長	本間 貴久
	副会長	小中 昌幸
旭川支部	支部長	實吉 孝範
旭川支部中小企業支援委員長		薄井 タカ子

1. 会長・理事長のあいさつ

【本間貴久会長】

TKCモニタリング情報サービス（以下、MIS）の覚書締結金融機関とトップ対談をさせていただいています。私たちはMISだけのつながりではなく「**金融機関と一緒に何かできないか**」ということを常に考えています。今、力を入れているのが行職員向け研修会の開催です。金融機関の若い職員にどのように決算書ができるのか知ってもらいたい、でき上がった決算書は目にしているが、決算書ができる過程でわれわれTKC会員事務所が何をしているかは見えていないと思います。行職員向け研修会は後ほどお話しさせていただきます。また地域密着という点では地元企業を守るというところを意識しています。**地元の金融機関と一緒に、企業を守っていく取り組みができればと思います。**本日はよろしくお願いいたします。

【増田雅俊理事長】

本日はわざわざお越しいただき、ありがとうございます。何度かTKC北海道会の会員の方と交流する機会もありましたが、ずいぶん前のことなので事前に確認いたしました。当時副会長だった岩本敏美会員を通していろいろと連携させていただいていました。現在、当庫では独自に地区別に土業の会員の方と勉強会などを開催し、連携を深める取り組みを実施しています。**TKCの会員の皆さまともぜひさらなる交流を深めて地域に根差して中小企業支援を行っていきたく考えています。**

2. 顔の見える関係構築を目指して（トップ対談やりとり、一部抜粋）

【TKC北海道会】

全国会の取り組みや会員の活動について、「顔の見える関係の構築を目指して」や「全国会のすべて」をもとに説明をしています。特に運動方針や巡回監査の取り組み、書面添付、自計化推進（DX支援）等を説明し、①関与先企業の黒字決算と適正申告を支援していること、②MISの普及にお互い取組んでいきたいこと、③行職員向け研修会の開催提案を行っております。

【稚内信用金庫】

9年ぶりのトップ対談で改めてMISを推進する必要があると理解しました。MISの仕組みは金融機関目線で考えると非常に理想的な仕組みと評価しています。一方でMISに消極的な企業や会員もいらっしゃることは把握していますので、さらなる推進も連携できればと考えています。現在、当庫では決算書の識別の一つとして提出いただいた決算書は全て税理士名を記載しております。行職員研修についても会員の皆さまとの交流の機会としてぜひ検討していきます。

3. トップ対談での合意事項 【定期的に協議会（現場担当者）を開催し、合意事項の実現を図っていく】

1. 行職員向け研修会の開催に合意 【テーマは双方で検討して決定する】
2. MISについて、消極的な会員事務所に対して双方から声かけを実施することに合意
3. 定期的な情報交換（協議会、支部例会参加など）の実施

TKC北海道会



TKC北海道会苫小牧支部

「金融機関交流会」開催報告

開催日時：令和7年9月10日（水）16:00～17:30

開催会場：グランドホテルニュー王子

参加機関：北海道銀行、北洋銀行、苫小牧信用金庫、北央信用組合、日本政策金融公庫、北海道信用保証協会（6機関11名）

参加会員：柴山太一、湯谷和彦、駒井桂伺、上田宣政、上田弘政、（敬称略）猪股冬樹、小林史郎、大坂要、小泉統邦、本野博之、桔梗原芳、澤田忠宏、市川善明、岩田圭史（会員14名）

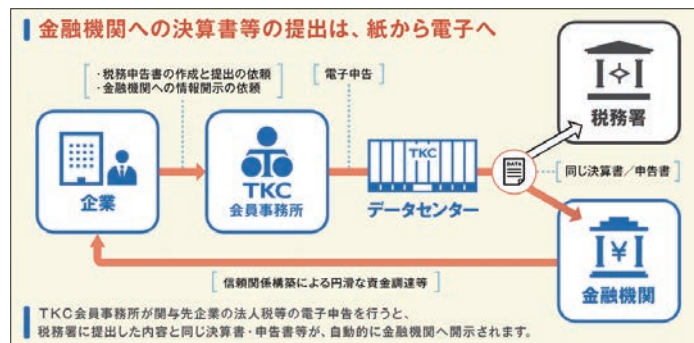
テーマ：金融機関から見た書面添付・MIS



講演：TKC会員の月次巡回監査から
書面添付、MISまでの流れ

講師：湯谷和彦会員（北海道会中小企業支援委員長）

内容：①取引発生から決算・申告までの流れ
②MISの業務フロー
③書面添付制度の活用について
④記帳適時性証明書が示す決算書の信頼性向上
⑤決算書の入手・登録事務のデジタル化



金融機関へのご質問、発表内容

①MISのシェアについて

融資先全体に占めるMISの割合は全体的に約1割（多い機関は2割）です。「TKC会員事務所は、MISを標準業務として取り組んでほしい」との要望をいただいています。月次を含め、業務のデジタル化対応が求められています。

②書面添付制度の活用について

「顕著な増減事項（増減理由）の情報は、融資先の格付け判断に活用しています」との回答が多いです。総合所見による税理士の関与度合い、記帳適時性証明書の情報など、決算書の信頼性向上につながる仕組みについて、高い関心を示されました。

③日本政策金融公庫からはTKCファストリンクの活用提案をいただいています。



TKC北海道会書面添付委員会企画

書面添付プレミアムセミナー開催報告

TKC北海道会書面添付推進委員会の企画として書面添付プレミアムセミナーが開催されました。現地19名、Web33名、総勢52名に参加いただき、大盛況となりました。一つの事例を基にグループディスカッションやロープレを通じて演習を行い、発表内容について2名の講師より講評いただくことで、質の高い実践的な研修会となりました。

日時：令和7年10月9日（木）14:00～17:00

会場：TKC北海道会研修センター／Web

講師：黒田納規税理士事務所 黒田 納規 会員

株式会社三菱UFJ銀行 TKC事業室 稗田 英明 さま

テーマ：実践！質の高い書面添付で税務署＆金融機関からの信頼を勝ち取ろう！

書面添付

税理士法
第33条の2



講師：稗田 英明 さま

■書面添付の重要性■

- ・金融機関側は、融資審査の際に提出される書面添付から、企業の実態把握のためのヒントを得ようとしており、信頼性の高い書面添付を求めています
- ・税務調査の観点からも、税務職員の定員割れや法人数の増加により実地調査の割合が低下しており、AIやデータ分析による効率的な調査選定が進んでいます
- ・書面添付が税務調査の選定に影響を与える可能性があります。AIが抽出した異常値について、書面添付で合理的な説明がされていれば、調査対象から外れる（調査優先度が下がる）可能性があります



講師：黒田 納規 会員

■書面添付に記載すべき具体的な項目■

- ・単なる事実だけでなく、その裏付けとなる具体的な資料名（作業日報、請求書、仕入先など）を併記することで、信憑性が増し、調査対象から外れる（調査優先度が下がる）可能性があります
- ・売上の増減など、「なぜ」増減したのかという理由を具体的に書くことが重要です
- ・可能であれば今後の計画や会社の強み・弱みについての記載があると、金融機関の担当者も実態を把握しやすくなります

アンケートの声

- ・税務署側と銀行側の書面添付を見るポイントを知ることができ、とても有意義な研修でした。
- ・ロープレとディスカッションを通して他事務所の取り組みを知ることができ、とても参考になりました。
- ・会員、職員の方々の着眼点や文例の発表をお聞きし、数値を見る注意力や作文能力の研鑽（けんさん）が必要であると改めて認識いたしました。
- ・本日の講義内容を事務所に落とし込み、監査担当者がまずは一件実践したいと思いました。

TKC北海道会 苫小牧支部

自計化ステップアップ研修会 (OMS編)

場所：TKC北海道会 研修センター／日程：令和7年9月22日(月)

01.これって税理士法違反？ ～コンプライアンス経営を実現する所内管理体制を構築しよう～

(巡回監査・事務所経営委員会 委員長：蝦名 和広 会員)

税理士業務は「**属人的になりがち**」な側面を持っています。特に税務相談の範囲では月次巡回監査時に個別・具体的な相談を受ける可能性が高く、その顛末について業務処理簿に記載する必要があります。また「**気づかないうちに違法状態になっている危険性**」もはらんでいます。さらに法人格の事務所や職員数の多い事務所ほど、所長が全職員の業務を正確に把握するのは困難になります。コロナ明けから特に、懲戒処分事例が増加しており、処分を受けた場合は関与先顧問の全件停止はもちろん、併設の社労士・行政書士事務所もストップになってしまいます。一方で、職員の給与は払い続ける必要がありますので、処分を受けることは事務所の存続に関わります。このことから**法令順守のうえで事務所管理体制を構築することが重要**です。OMSは最適システムと言えます。スケジューラ・業務日報等のシステムで、職員一人ずつの予定と業務日報の確認を行えます。また税務相談の報告／承認は、業務処理簿を活用することで確認可能です。私も他社システムからOMSに切り替えましたが事務所の組織体制構築に非常に役立っています。一緒にシステムを使い倒していきましょう。



02.月次巡回監査体制の構築に役立つOMSの使い方

(巡回監査・事務所経営委員会 副委員長：足立 真行 会員)

月次巡回監査体制を構築するためにも、まずは**事務所全体の指標**を立てておく必要があります。OMSの目標管理KPIは、翌月巡回監査の対象関与先を設計でき、指標の一つとして使えます。また職員がスケジューラで立てた予定が連動し、巡回監査の未了先はTKCチャットにお知らせが届くようになっています。スケジューラは業務日報(DRS)や時間管理(TMS)、税理士報酬(FMS)、関与先カルテに連動するため**業務の「可視化」や「収益構造の把握・値上げ」**にも活用できます。さらにOMSは**人材・組織の育成**にも活用可能です。例えばオンデマンド研修サービスで、研修URLをコピーしスケジューラに貼り付けをすると、複数人で研修受講や勉強会を実施可能になります。OMSは各機能を連動する形で使っていくことで、最大価値を発揮できると思います。付加価値の高い業務に関与先に提供するためにまずはOMSのツールを活用していきましょう。

(ご参考) ProFIT【OMSクラウド積極活用サイト】



03.今日から始める！OMSのかんたん設定

(株式会社TKC 北日本統括センター NSGリーダー：熊迫 亮さま)

OMS活用のカギは初期設定と元になる「**CDB**」データの適時・正確な修正です。各システム設定でお困りの際はぜひ担当SCGにご相談ください。最新情報として、OMSドライブに「**関与先とのファイル共有機能**」という新機能が加わりました。画像ファイル等のサイズが大きいものを送付する際に有効な機能です。これからの年末調整シーズンにも資料回収等で非常に役立ちますので、ぜひ活用をご検討ください。また所内の申請・承認業務を便利にする**ワークストリームクラウド(WSC)**という機能もあります。所内文書のデジタル化や業務効率化を図れるシステムですので、こちらも活用を検討いただけますようお願いいたします。**OMSは今後さらに進化を重ねてまいります。**長期的ゴールの「**AIエージェント**」では**事務所経営にAIから提案できる形**を予定しています。そのためにもまずは搭載済みのシステムを徹底活用することでデータを「貯める」ことが重要です。皆さまのシステム活用を北海道センター社員一同でご支援してまいります。



TKC帯広
SCGサービスセンター
センター長

有川 哲雄
Tetsuo Arikawa

10月1日(水)より帯広SCGサービスセンターのセンター長として着任しました有川哲雄と申します。北海道会の会員・職員の皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

早速ですが、自己紹介をさせていただきます。TKC入社から、現在20年目を迎える社員です。TKC入社のきっかけは、両親が国民生活金融公庫(現:日本政策金融公庫)に勤めており、父から「TKC全国会の会員の方々は中小企業の経営アドバイスに情熱的かつ親身に取り組んでいるすごい集団である」と聞いたことがきっかけです。今までの職歴は、下方に記載をさせていただきました。SCG歴が15年半と長いため、TKCシステムへの探求心を常に持っております。

北海道は旅行経験がありますが、実際に住むのは初めてとなります。東洋経済新報社が毎年発表している「住みよさランキング」で

帯広市は道内4年連続1位獲得という記事を読み家族全員(3人:妻と小学校4年生の娘)で引っ越してまいりました。防寒対策や雪道運転のコツがございましたら、ぜひご教授いただきたいと思います！

話は変わりますが、TKC全国会の活動においては、現在2025年～2030年の運動期間における、第一フェーズの2年間となります。月次決算体制の構築に伴う、TKCシステムの提案・導入・活用を通じて少しでもお役に立ちたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

【TKC全国会の運動方針】

税理士の4大業務を完遂し、中小企業を元気にしよう！月次決算体制の構築がすべての基本

【行動指針】

- ①月次巡回監査の実施関与先を増やす
- ②FXクラウドシリーズでTKC方式の自計化を推進する
- ③月次決算速報サービスを活用し、自己資本率の向上を支援する

〈これまでの職歴〉

配属日付	地域会	センター名	職種	期間
2006年4月	西東京山梨会	八王子	SCG	5年半
2011年10月	東・東京会	首都圏東	SCG	6年間
2017年10月	千葉会	柏	SCG	4年間
2021年10月	南近畿会	大阪南	センター長代理	4年間
2025年10月	北海道会	帯広	センター長	今回



推進会議見学会レポート ～Aimパートナーズ総合会計事務所(蝦名和広会員)～

10月24日(金)、Aimパートナーズ総合会計事務所(蝦名和広会員)にて「企業防衛推進会議 見学会」が開催されました。企業防衛制度推進委員会では、保険指導の標準業務化を目指し「北海道スタイル認定制度」の拡大を進め、この認定制度では以下の4項目を標準業務化の必須要素と位置付けています。

- 1.実践計画書の策定
- 2.標準保障額の算定
- 3.推進会議の開催
- 4.保障内容確認活動の実施

今回の見学会は、特に会員から「やり方が分からない」「もっとブラッシュアップしたい」との声が多かった「推進会議の開催」に焦点を当て、モデルケースとして実施されました。

Aimパートナーズ総合会計事務所は、2023年度から企業防衛制度の推進に本格的に取り組み、

- ・2023年度：新契約 204,840万円
 - ・2024年度：新契約 377,550万円
- と、わずか2年でマスターズ事務所に認定される成果を上げています。

当日は現地参加21名、WEB参加26名の計47名が参加。推進会議は以下の2部構成で行われました。

第1部 監査担当者ごとの案件進捗状況の確認

推進責任者・白根澤昌治さんの進行のもと、各監査担当者が提案先の状況を報告。

報告内容には「企業名」「保障金額」「初回提案日と反応」「次回提案予定と結果」などが含まれ、白根澤さんから随時アドバイスが入りました。

白根澤さんは、「提案をうやむやにせず、実際に行動してもらうことを意識している」と語られ、提案の確実な実行を重視している姿勢が印象的でした。



司会を務めた伊藤貴雄会員



白根澤昌治さん



見学会の様子



五十嵐裕紀さん



今浩紀さん

第2部 関与先への提案手法の具体的検討

監査担当者の今浩紀さん・五十嵐裕紀さんの2名が、「標準保障額」「集計表」「決算書」「保険指導内容検討シート」を用いて、提案プランをそれぞれ発表。

その後、他の監査担当者から次の鋭い質問が飛び交いました。

- ・資金繰りが厳しい企業に対して、保険料をどう捻出するか？
- ・冗費(交際費等)を見直して保険料に充てられないか？
- ・他社で加入している保険を見直しし、保険料捻出は可能か？
- ・成約見込時期はいつか。そこに向けてのクロージング戦略は？



蝦名和広会員

質問終了後、発表者の2名(今さん・五十嵐さん)とも「11月●●日に月次訪問予定。決定権のある〇〇社長に提案し、11月中に保障開始を目指す」と具体的な行動を全員へ向けてコミットしていることが心に残っています。

そして、最後に蝦名会員から「勝つための意欲は誰でもある。勝つために準備する意欲が大切。グランドマスターズ、シルバーマスターズに必ず該当するように頑張っていこう」と力強く締めくくられました。

見学会を終えて

今回の見学会では、提案の具体性と行動の明確化に事務所全員で、取り組んでいる点が非常に印象的でした。「社長不在で提案できなかった」「他の話題でタイムオーバーとなり保険提案ができなかった」といった事態に陥らず、次の行動を明確にし、全員が実行に移している姿勢が、短期間でマスターズ事務所に認定された大きな要因と感じています。

企業防衛制度推進委員会としては、今回が2回目の推進会議見学会となりましたが、蝦名会員をはじめ、Aimパートナーズ総合会計事務所の皆様のご協力により、非常にレベルの高い見学会となりました。心より御礼申し上げます。

(企業防衛制度推進委員長 八森 恵一)

TKC北海道会
早期経営改善計画策定支援NEWS 令和7年10月10日版

TKC北海道会 会員各位

平成29年5月29日より早期経営改善計画策定支援が開始されました。当事業は、中小企業や小規模企業が、認定支援機関の支援を受けて、経営改善計画を策定し、金融機関に提出することで自己の経営の見直しと早期の経営改善を促すものです。認定支援機関の使命として、当事業を積極的に実践することで、関与先の業績管理体制を整えていきましょう。

TKC北海道会では、全認定支援機関登録事務所が、当事業を実践することを目指して活動します。その一環として、早期経営改善計画策定支援実践事務所一覧を定期的に会員事務所へ発信いたします。是非、取り組みを開始しましょう!

TKC北海道会 会長 本間 貴久

早期経営改善計画策定支援実践事務所一覧

【令和7年10月10日現在・順不同・敬称略】

No	支部	事務所所在地	事務所名	会員名	No	支部	事務所所在地	事務所名	会員名
1	札幌東	札幌市東区	市川善明税理士事務所	市川善明	31	札幌西	札幌市中央区	南優香税理士事務所	南優香
2	札幌東	札幌市東区	岩崎新税理士事務所	岩崎新	32	札幌西	札幌市西区	山田めぐみ税理士事務所	山田めぐみ
3	札幌東	札幌市中央区	税理士岩崎公治事務所	岩崎公治	33	札幌西	札幌市中央区	税理士法人すずらん総合マネジメント	山谷謙太
4	札幌東	札幌市豊平区	岩田圭史・社労士事務所	岩田圭史	34	札幌西	札幌市中央区	税理士法人エンカレッジ	吉田幸広
5	札幌東	札幌市中央区	税理士法人加藤会計事務所	加藤恵一郎	35	函館	函館市	長田栄吾税理士事務所	長田栄吾
6	札幌東	札幌市厚別区	あすか税理士法人	川股修二	36	函館	函館市	税理士法人西谷会計事務所	西谷裕幸
7	札幌東	札幌市中央区	黒田納規税理士事務所	黒田納規	37	函館	函館市	野呂豊税理士事務所	野呂豊
8	札幌東	札幌市白石区	小平康夫税理士事務所	小平康夫	38	函館	北斗市	細川拡厚税理士事務所	細川拡厚
9	札幌東	札幌市白石区	清宮純税理士事務所	清宮純	39	函館	茅部郡森町	松山高治税理士事務所	松山高治
10	札幌東	札幌市北区	アース税理士法人	谷口和雅	40	苫小牧	苫小牧市	湯谷和彦税理士事務所	湯谷和彦
11	札幌東	札幌市中央区	札幌あおい税理士法人	田村大助	41	旭川	旭川市	税理士法人薄井会計	薄井タカ子
12	札幌東	札幌市東区	寺田勉税理士事務所	寺田勉	42	旭川	深川市	税理士法人小島会計	小島拓也
13	札幌東	札幌市白石区	税理士法人中川会計	中川信喜	43	旭川	旭川市	税理士法人北都会計	島田康弘
14	札幌東	札幌市東区	廣瀬晃典税理士事務所	廣瀬晃典	44	旭川	旭川市	税理士法人カムイ会計	高橋慎吾
15	札幌東	札幌市東区	FUJITA税理士法人	藤田時人	45	旭川	稚内市	税理士法人田村会計	田村栄章
16	札幌東	札幌市北区	藤本康男税理士事務所	藤本康男	46	旭川	旭川市	ふたば税理士法人	西康子
17	札幌東	札幌市東区	税理士法人本間会計事務所	本間貴久	47	旭川	旭川市	税理士法人たいせつ	渡辺亨
18	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人アンビジャス・パートナーズ	森下浩	48	北見	網走市	税理士法人オホーツクネクスト経営会計	南都正弘
19	札幌東	札幌市北区	柳川会計事務所	柳川英樹	49	空知	滝川市	大林強税理士事務所	大林強
20	札幌東	札幌市中央区	RITA税理士法人	山美幹生	50	空知	滝川市	斎藤恵美子税理士事務所	斎藤恵美子
21	札幌東	札幌市中央区	吉田聡税理士事務所	吉田聡	51	空知	滝川市	税理士法人エルムパートナーズ	坂本健人
22	札幌西	札幌市中央区	税理士法人池脇会計事務所	池脇竜太	52	空知	滝川市	八幡税理士事務所	八幡吉昭
23	札幌西	札幌市西区	Aimパートナーズ総合会計事務所	蝦名和広	53	帯広	帯広市	税理士法人あおぞら会計事務所	河合敏
24	札幌西	札幌市中央区	税理士法人高橋会計事務所	大館政男	54	帯広	帯広市	来海会計事務所	来海有起
25	札幌西	札幌市中央区	朝日税理士法人	小川裕也	55	帯広	中川郡本別町	砂原会計事務所	砂原政広
26	札幌西	札幌市中央区	小中昌幸税理士事務所	小中昌幸	56	帯広	帯広市	税理士法人竹川会計事務所	竹川博之
27	札幌西	札幌市中央区	アウル税理士法人	鈴木康弘	57	帯広	帯広市	中井会計事務所	中井宏
28	札幌西	札幌市中央区	税理士法人田中会計事務所	田中裕之	58	釧路	釧路市	税理士法人トップマネジメント	甲賀伸彦
29	札幌西	札幌市中央区	戸井正人税理士事務所	戸井正人	59	釧路	釧路市	税理士法人タックス総合経営研究所	坂下慎一
30	札幌西	札幌市中央区	税理士法人常見会計	中村新太郎	60	釧路	釧路市	鈴木圭介税理士事務所	鈴木圭介

1. 事務所名掲載の条件

(1) ProFITの「利用申請受理通知」の報告を実施していること。

(2) 「利用申請受理通知」の報告にて「TKC会報の実践事務所一覧への掲載」および「TKC全国会HPの実践事務所一覧への事務所名掲載」を承諾していること。

※事務所名掲載を希望されない場合は、ProFITにて承諾にチェックを入れないようにしてください。

2. 当資料は、前週の金曜日に集計し毎週月曜日に発信させていただきます。

TKC北海道会
中小企業支援委員会／システム委員会／巡回監査・事務所経営委員会

道内金融機関MIS対応状況一覧表(8月11日現在)

行	金融機関名	区分	Web BAST 利用	MIS	決算書提供 サービス 申込件数	月次試算表 提供サービス 申込件数	支店数	1支店 あたり 申込件数	貸出件数	貸出件数* に占める MIS割合
1	北海道銀行	地銀	○	○	1,762	243	144	12.2	14,092	12.5%
2	北洋銀行	第二地銀	○	○	3,632	493	171	21.2	28,775	12.6%
3	北海道信用金庫	信用金庫	○	○	1,278	163	81	15.8	10,952	11.7%
4	室蘭信用金庫	信用金庫		○	124	9	26	4.8	2,082	6.0%
5	空知信用金庫	信用金庫	○	○	315	49	21	15.0	3,043	10.4%
6	苫小牧信用金庫	信用金庫	○	○	311	51	27	11.5	2,252	13.8%
7	北門信用金庫	信用金庫	○	○	319	84	23	13.9	2,134	14.9%
8	伊達信用金庫	信用金庫	○	○	46	2	7	6.6	1,010	4.6%
9	北空知信用金庫	信用金庫		○	136	42	14	9.7	907	15.0%
10	日高信用金庫	信用金庫		○	70	10	8	8.8	948	7.4%
11	渡島信用金庫	信用金庫		○	41	6	11	3.7	740	5.5%
12	道南うみ街信用金庫	信用金庫	○	○	104	15	20	5.2	2,235	4.7%
13	旭川信用金庫	信用金庫	○	○	488	89	40	12.2	5,682	8.6%
14	稚内信用金庫	信用金庫	○	○	159	30	24	6.6	1,649	9.6%
15	留萌信用金庫	信用金庫	○	○	250	37	17	14.7	2,114	11.8%
16	北星信用金庫	信用金庫	○	○	194	30	22	8.8	1,531	12.7%
17	帯広信用金庫	信用金庫	○	○	897	81	29	30.9	4,736	18.9%
18	釧路信用金庫	信用金庫	○	○	304	65	18	16.9	1,796	16.9%
19	大地みらい信用金庫	信用金庫		○	126	22	24	5.3	2,065	6.1%
20	北見信用金庫	信用金庫	○	○	293	50	29	10.1	3,702	7.9%
21	網走信用金庫	信用金庫	○	○	157	29	19	8.3	1,626	9.7%
22	遠軽信用金庫	信用金庫		○	112	15	20	5.6	590	19.0%
23	北央信用組合	信用組合	○	○	265	31	26	10.2		
24	札幌中央信用組合	信用組合	○	○	181	30	14	12.9		
25	空知商工信用組合	信用組合	○	○	160	52	9	17.8		
26	十勝信用組合	信用組合	○	○	161	9	8	20.1		
27	釧路信用組合	信用組合	○	○	72	23	5	14.4		
28	十勝清水町農業協同組合	その他	○	○	13	6	1	13.0		
29	きたそらち農業協同組合	その他		○	7	1	1	7.0		
30	東神楽農業協同組合	その他	○	○	2	1	1	2.0		
31	北海道信用保証協会	保証協会	○	○	3,088	315	10	308.8	20,696	14.9%

※貸出件数は、各金融機関のディスクロージャーより転記しています。

1支店あたりのMIS申込件数は、北海道銀行、北洋銀行、北海道信用保証協会ははじめ18金融機関において10件以上、貸出件数に占めるMIS割合は帯広信金ははじめ13金融機関が10%以上となっています。MISの圧倒的な実践を行い、その結果、社会への納得を得られるようMISをさらに推進していきましょう!

1.TKCモニタリング情報サービス採用金融機関

■北海道内金融機関■

1	北海道銀行	7	北空知信用金庫	13	渡島信用金庫	19	大地みらい信用金庫	25	遠軽信用金庫
2	北洋銀行	8	空知信用金庫	14	網走信用金庫	20	釧路信用組合	26	十勝清水町農業協同組合
3	道南うみ街信用金庫	9	北門信用金庫	15	北星信用金庫	21	北央信用組合	27	伊達信用金庫
4	北海道信用金庫	10	稚内信用金庫	16	空知商工信用組合	22	日高信用金庫	28	札幌中央信用組合
5	苫小牧信用金庫	11	帯広信用金庫	17	釧路信用金庫	23	室蘭信用金庫	29	きたそらち農業協同組合
6	旭川信用金庫	12	北見信用金庫	18	十勝信用組合	24	留萌信用金庫	30	東神楽農業協同組合

■都市銀行等■

1	三菱UFJ銀行	5	商工組合中央金庫
2	りそな銀行	6	日本政策金融公庫
3	三井住友銀行	7	北海道信用保証協会
4	楽天銀行	8	みずほ銀行

■道内に支店がある他県の金融機関■

1	北陸銀行	5	スルガ銀行
2	みちのく銀行	6	七十七銀行
3	秋田銀行	7	青森銀行
4	第四銀行		



2.TKCモニタリング情報サービス積極推進事務所

No	支部	所在地	事務所名	会員名
1	札幌東	札幌市東区	あらい税理士事務所	荒井 利幸
2	札幌東	札幌市北区	税理士法人ジャパンタックス申告会	池戸 俊幸
3	札幌東	札幌市東区	市川善明税理士事務所	市川 善明
4	札幌東	札幌市東区	岩崎新税理士事務所	岩崎 新
5	札幌東	札幌市中央区	税理士岩崎公治事務所	岩崎 公治
6	札幌東	札幌市豊平区	岩田税理士・社労士事務所	岩田 圭史
7	札幌東	札幌市東区	税理士法人五十嵐会計事務所	上村 剛
8	札幌東	札幌市東区	宇野恵理税理士事務所	宇野 恵理
9	札幌東	札幌市豊平区	大林慎一税理士事務所	大林 慎一
10	札幌東	札幌市中央区	税理士法人加藤会計事務所	加藤恵一郎
11	札幌東	札幌市豊平区	税理士法人金坂会計事務所	金坂 和正
12	札幌東	札幌市厚別区	あすか税理士法人	川股 修二
13	札幌東	札幌市中央区	黒田納規税理士事務所	黒田 納規
14	札幌東	札幌市北区	小島史資税理士事務所	小島 史資
15	札幌東	札幌市白石区	小平康夫税理士事務所	小平 康夫
16	札幌東	札幌市東区	小林崇税理士事務所	小林 崇
17	札幌東	札幌市白石区	斎藤雅昭税理士事務所	斎藤 雅昭
18	札幌東	札幌市南区	坂本文彦税理士事務所	坂本 文彦
19	札幌東	札幌市北区	税理士法人日本アシスト会計	佐々木忠則
20	札幌東	札幌市北区	税理士法人アカシヤ総合事務所	佐々木俊彦
21	札幌東	札幌市北区	佐々木雅敬税理士事務所	佐々木雅敬
22	札幌東	恵庭市	佐藤孝尚税理士事務所	佐藤 孝尚
23	札幌東	札幌市中央区	佐藤敏明税理士事務所	佐藤 敏明
24	札幌東	札幌市中央区	佐藤博嗣税理士事務所	佐藤 博嗣
25	札幌東	札幌市豊平区	鈴木久欣税理士事務所	鈴木 久欣
26	札幌東	札幌市北区	税理士法人すみよし会計総合事務所	住吉 赴夫
27	札幌東	札幌市白石区	清宮純税理士事務所	清宮 純
28	札幌東	札幌市白石区	税理士瀬戸口明慶事務所	瀬戸口明慶
29	札幌東	札幌市北区	税理士法人しらかば総合会計事務所	田中 慎也
30	札幌東	札幌市北区	アース税理士法人	谷口 和雅
31	札幌東	札幌市中央区	札幌あおい税理士法人	田村 大助

No	支部	所在地	事務所名	会員名
32	札幌東	札幌市豊平区	税理士法人アグス平岸事務所	千葉 寛樹
33	札幌東	札幌市豊平区	BDO税理士法人 札幌事務所	出口 秀樹
34	札幌東	札幌市東区	寺田勉税理士事務所	寺田 勉
35	札幌東	札幌市南区	中川一俊税理士事務所	中川 一俊
36	札幌東	札幌市白石区	税理士法人中川会計	中川 信喜
37	札幌東	札幌市東区	名越越務会計事務所	名越 隆雄
38	札幌東	札幌市白石区	西原昇一税理士事務所	西原 昇一
39	札幌東	札幌市北区	税理士法人札幌北会計事務所	能登 康広
40	札幌東	札幌市北区	税理士法人ひづめ会計	樋爪 昌之
41	札幌東	札幌市東区	廣瀬晃典税理士事務所	廣瀬 晃典
42	札幌東	札幌市東区	FUJITA税理士法人	藤田 時人
43	札幌東	札幌市東区	税理士法人本間会計事務所	本間 貴久
44	札幌東	札幌市中央区	税理士法人アグス大通事務所	松本 隆臣
45	札幌東	札幌市中央区	丸山昭一税理士事務所	丸山 昭一
46	札幌東	札幌市東区	宮下直樹税理士事務所	宮下 直樹
47	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人アンビジャス・パートナーズ	森下 浩
48	札幌東	札幌市北区	柳川会計事務所	柳川 英樹
49	札幌東	札幌市東区	山口和佳子税理士事務所	山口和佳子
50	札幌東	札幌市中央区	RITA税理士法人	山美 幹生
51	札幌東	札幌市南区	米澤篤志税理士事務所	米澤 篤志
52	札幌西	札幌市中央区	中央財務税理士法人	安倍 亨
53	札幌西	札幌市中央区	税理士法人さっぽろ経営センターさっぽろ税務会計	阿部 真澄
54	札幌西	札幌市中央区	税理士法人池脇会計事務所	池脇 竜太
55	札幌西	札幌市中央区	税理士法人春野会計事務所	石川 由男
56	札幌西	札幌市中央区	板倉圭吾税理士事務所	板倉 圭吾
57	札幌西	札幌市中央区	上原貢税理士事務所	上原 貢
58	札幌西	札幌市西区	Aimパートナーズ総合会計事務所	蝦名 和広
59	札幌西	札幌市中央区	岡崎正毅税理士事務所	岡崎 正毅
60	札幌西	札幌市中央区	朝日税理士法人	小川 裕也
61	札幌西	札幌市中央区	川崎税理士事務所	川崎 努
62	札幌西	札幌市中央区	小中昌幸税理士事務所	小中 昌幸

No	支部	所在地	事務所名	会員名
63	札幌西	札幌市中央区	齋藤豊税理士事務所	齋藤 豊
64	札幌西	札幌市手稲区	佐藤寿志税理士事務所	佐藤 寿志
65	札幌西	札幌市中央区	鈴江誠税理士事務所	鈴江 誠
66	札幌西	札幌市西区	竹内美哉税理士事務所	竹内 美哉
67	札幌西	札幌市中央区	税理士法人田中会計事務所	田中 裕之
68	札幌西	札幌市中央区	外館英樹税理士事務所	外館 英樹
69	札幌西	札幌市中央区	中川雄介税理士事務所	中川 雄介
70	札幌西	札幌市西区	税理士法人共栄会計	長田 幸雄
71	札幌西	札幌市中央区	税理士法人常見会計	中村新太郎
72	札幌西	札幌市中央区	税理士法人川井会計	中村 宗睦
73	札幌西	札幌市中央区	橋本佐智子税理士事務所	橋本佐智子
74	札幌西	札幌市中央区	はちもり会計事務所	八森 恵一
75	札幌西	札幌市中央区	林田敬二税理士事務所	林田 敬二
76	札幌西	札幌市中央区	平田清悦税理士事務所	平田 清悦
77	札幌西	札幌市中央区	堀内信吾税理士事務所	堀内 信吾
78	札幌西	札幌市中央区	税理士法人あかり会計堀内	堀内鶴次郎
79	札幌西	札幌市中央区	スズカ税理士法人	松本 剛明
80	札幌西	札幌市西区	三上税務会計事務所	三上 香織
81	札幌西	札幌市中央区	南優香税理士事務所	南 優香
82	札幌西	札幌市中央区	森下税務会計事務所	森下 敏美
83	札幌西	札幌市中央区	柳橋税務会計事務所	柳橋 琢磨
84	札幌西	札幌市中央区	八島依子税理士事務所	八島 依子
85	札幌西	札幌市西区	山田めぐみ税理士事務所	山田めぐみ
86	札幌西	札幌市中央区	税理士法人すずらん総合マネジメント	山谷 謙太
87	札幌西	札幌市中央区	湯澤武憲税理士事務所	湯澤 武憲
88	札幌西	札幌市中央区	吉田淳税理士事務所	吉田 淳
89	札幌西	札幌市中央区	税理士法人エンカレッジ	吉田 幸広
90	札幌西	札幌市西区	米倉弘之税理士事務所	米倉 弘之
91	小樽	小樽市	澤田忠宏税理士事務所	澤田 忠宏
92	小樽	小樽市	税理士法人中央会計事務所	杉下 清次
93	小樽	小樽市	戸井三雄税理士事務所	戸井 三雄
94	小樽	岩内郡岩内町	西正則税理士事務所	西 正則
95	小樽	虻田郡倶知安町	税理士法人アームズ会計社	藪内 英利
96	函館	函館市	大原章敬税理士事務所	大原 章敬
97	函館	函館市	奥山昌弘税理士事務所	奥山 昌弘
98	函館	函館市	田村維之税理士事務所	田村 維之
99	函館	函館市	長田栄吾税理士事務所	長田 栄吾
100	函館	函館市	税理士法人西谷会計事務所	西谷 裕幸
101	函館	函館市	野呂豊税理士事務所	野呂 豊
102	函館	函館市	税理士法人アグス函館事務所	蛭子井真市
103	函館	北斗市	細川拓厚税理士事務所	細川 拓厚
104	函館	茅部郡森町	松山高治税理士事務所	松山 高治
105	空知	岩見沢市	税理士法人TACS	木村 聡
106	空知	滝川市	斎藤恵美子税理士事務所	斎藤恵美子
107	空知	滝川市	税理士法人エルムパートナーズ	坂本 健人
108	空知	滝川市	八幡税理士事務所	八幡 吉昭
109	空知	岩見沢市	税理士法人ひまわり	山田 和訓
110	旭川	旭川市	税理士法人薄井会計	薄井タカ子

No	支部	所在地	事務所名	会員名
111	旭川	名寄市	税理士法人下田総合事務所	小笠原 雄
112	旭川	旭川市	税理士法人エール旭川	尾田 利雄
113	旭川	旭川市	金谷博光税理士事務所	金谷 博光
114	旭川	士別市	税理士法人神田税理士事務所	神田 将吾
115	旭川	稚内市	税理士法人薄井会計稚内蝦名事務所	窪田 洋一
116	旭川	深川市	税理士法人小島会計	小島 拓也
117	旭川	旭川市	朝日税理士法人旭川事務所	實吉 孝範
118	旭川	旭川市	税理士法人カムイ会計	高橋 慎吾
119	旭川	旭川市	多田陽平税理士事務所	多田 陽平
120	旭川	稚内市	税理士法人田村会計	田村 栄章
121	旭川	旭川市	藤井雄一郎税理士事務所	藤井雄一郎
122	旭川	旭川市	舟橋馨税理士事務所	舟橋 馨
123	旭川	旭川市	細田一晴税理士事務所	細田 一晴
124	旭川	旭川市	サポートアンドエール税理士法人旭川事務所	丸山 和也
125	旭川	旭川市	税理士法人北都会計	島田 康弘
126	北見	紋別市	井山等税理士事務所	井山 等
127	北見	北見市	中島茂幸税理士事務所	中島 茂幸
128	北見	網走市	税理士法人オホーツクネクスト経営会計	南部 正弘
129	北見	網走市	税理士法人北翔会計	藤原 誉康
130	北見	紋別市	渡邊直喜税理士事務所	渡邊 直喜
131	帯広	帯広市	税理士法人FPC	井上 理
132	帯広	帯広市	梅田勇税理士事務所	梅田 勇
133	帯広	帯広市	税理士法人FPC	大平 涉
134	帯広	帯広市	税理士法人あおぞら会計事務所	河合 敏
135	帯広	広尾郡広尾町	木下利夫税理士事務所	木下 利夫
136	帯広	帯広市	来海会計事務所	来海 有起
137	帯広	帯広市	佐藤信祐税理士事務所	佐藤 信祐
138	帯広	帯広市	税理士法人きずな会計事務所	佐藤 達徳
139	帯広	中川郡本別町	砂原会計事務所	砂原 政広
140	帯広	帯広市	関税理士事務所	関 有紀子
141	帯広	帯広市	税理士法人竹川会計事務所	竹川 博之
142	帯広	帯広市	田中聡税理士事務所	田中 聡
143	帯広	帯広市	谷本会計事務所	谷本 倍規
144	帯広	河東郡音更町	てるい会計事務所	照井 直樹
145	帯広	帯広市	東城会計事務所	東城 敬貴
146	帯広	帯広市	中井会計事務所	中井 宏
147	帯広	帯広市	松田孝志税理士事務所	松田 孝志
148	釧路	釧路市	伊藤文彦税理士事務所	伊藤 文彦
149	釧路	釧路市	税理士法人トップマネジメント	甲賀 伸彦
150	釧路	釧路市	税理士法人タックス総合経営研究所	坂下 慎一
151	釧路	釧路市	鈴木圭介税理士事務所	鈴木 圭介
152	苫小牧	苫小牧市	あすか税理士法人 苫小牧	石田 政士
153	苫小牧	苫小牧市	猪股冬樹税理士事務所	猪股 冬樹
154	苫小牧	室蘭市	駒井桂伺税理士事務所	駒井 桂伺
155	苫小牧	登別市	柴山太一税理士事務所	柴山 太一
156	苫小牧	苫小牧市	本野博之税理士事務所	本野 博之
157	苫小牧	苫小牧市	湯谷和彦税理士事務所	湯谷 和彦

令和7年 書面添付実践件数（令和7年9月末日現在）

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和6年実績	令和7年実績									
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
1	札幌東支部	市川 善明	52	1	7	7	5	10	2	3	3	4	42
2		岩崎 新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3		岩田 圭史	57	1	10	19	6	18	2	7	3	8	74
4		大林 愼一	5	0	0	1	0	1	0	1	0	0	3
5		加藤恵一郎	209	4	35	32	23	37	14	8	13	13	179
6		金子 雅行	8	0	1	1	0	1	1	1	0	2	7
7		金坂 和正	13	0	2	2	0	1	1	1	3	0	10
8		川股 修二	170	10	14	8	22	19	15	16	16	12	132
9		小平 康夫	45	0	4	4	4	8	3	3	5	3	34
10		斎藤 雅昭	11	0	1	0	0	5	2	0	1	0	9
11		坂本 文彦	11	0	3	0	0	6	0	0	1	1	11
12		佐々木忠則	218	7	23	43	16	39	20	19	20	8	195
13		佐々木俊彦	13	1	2	1	2	1	0	2	2	1	12
14		佐々木幸徳	32	0	2	1	5	5	0	3	1	2	19
15		佐藤 俊一	13	0	3	1	0	2	0	1	2	1	10
16		佐藤 孝尚	18	2	2	2	1	4	2	0	1	0	14
17		下坂 登	7	0	6	0	1	0	0	0	1	1	9
18		清宮 純	83	1	8	6	6	17	6	5	6	4	59
19		高野 真人	8	0	0	0	0	2	1	2	2	0	7
20		田中 愼也	4	0	0	0	0	0	1	2	0	0	3
21		谷口 和雅	28	1	3	3	0	8	2	3	5	0	25
22		田村 大助	62	0	8	9	3	14	4	4	6	0	48
23		千葉 寛樹	78	3	15	6	4	18	3	2	5	6	62
24		出口 秀樹	65	2	5	3	5	21	2	5	4	3	50
25		寺田 勉	84	1	6	21	7	14	7	3	2	11	72
26		中川 一俊	54	0	9	2	9	9	0	1	2	0	32
27		中川 信喜	59	3	6	10	4	10	6	5	3	3	50
28		名越 隆雄	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
29		鳴海 敏郎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30		西野尾嘉拓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31		能登 康広	8	0	1	0	2	0	2	0	1	1	7
32		廣瀬 晃典	28	0	5	1	1	5	4	2	4	2	24
33		藤田 時人	51	4	4	3	7	6	6	4	6	3	43
34		藤谷 満雄	14	0	3	0	1	2	2	0	2	1	11
35		藤本 康男	4	0	1	0	1	0	0	1	1	0	4
36		本間 崇	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
37		本間 貴久	146	1	24	17	16	34	5	8	9	12	126
38		松本 隆臣	66	2	8	8	2	11	7	1	7	2	48
39		丸山 昭一	30	2	5	0	4	3	1	3	1	1	20
40		宮下 直樹	264	12	50	53	18	35	8	18	19	15	228

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和6年実績	令和7年実績									
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
41	札幌東支部	宮本 信	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
42		森下 浩	20	0	4	5	2	1	0	2	0	1	15
43		山美 幹生	53	4	7	3	7	17	2	3	5	4	52
44		横山 知明	0	31	1	3	12	4	4	1	1	0	57
45	札幌東支部	吉田 淳	12	0	1	0	1	7	1	2	0	0	12
46		米澤 篤志	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47		阿部 真澄	44	0	1	0	1	8	4	2	3	6	25
48		池脇 竜太	89	1	7	9	8	13	11	5	4	10	68
49	札幌西支部	石川 透	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
50		石川 由男	41	0	12	1	2	7	3	2	4	3	34
51		伊東 幹世	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
52		上原 貢	11	0	1	2	2	1	1	0	2	0	9
53	札幌西支部	大沼 宏	6	0	0	0	1	5	0	0	1	0	7
54		岡崎 克明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55		岡崎 正毅	11	0	0	5	2	1	0	1	1	0	10
56		小川 裕也	12	1	1	1	1	3	0	1	0	0	8
57	札幌西支部	川端 忠範	11	0	1	0	1	3	2	0	0	1	8
58		國分 敬祐	6	0	1	0	0	1	0	0	1	0	3
59		小中 昌幸	123	3	8	26	8	28	10	4	4	13	104
60		小林 康弘	25	0	2	2	5	6	2	1	1	4	23
61	札幌西支部	近藤 勝美	5	0	1	0	0	0	0	2	0	0	3
62		鈴江 誠	46	0	5	7	4	12	4	1	5	3	41
63		高野 一夫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
64		田中 裕之	142	1	19	15	10	42	4	9	13	11	124
65	札幌西支部	藤堂 愛子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
66		外館 英樹	20	3	1	3	0	3	0	3	1	1	15
67		中川 雄介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
68		長田 幸雄	18	0	2	1	0	3	1	1	1	1	10
69	札幌西支部	八森 恵一	12	0	0	0	0	4	1	0	1	0	6
70		平田 清悦	36	0	9	6	3	6	1	1	3	1	30
71		堀内鶴次郎	18	0	3	0	1	3	1	2	1	1	12
72		三上 香織	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
73	札幌西支部	南 優香	43	2	9	3	4	9	0	2	4	1	34
74		村西 逸郎	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
75		森下 敏美	12	0	2	3	0	3	0	3	0	0	11
76		柳橋 琢磨	16	3	3	0	1	2	1	0	1	2	13
77	札幌西支部	八島 依子	23	0	3	5	1	6	2	0	1	4	22
78		山田めぐみ	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
79		山谷 謙太	254	6	28	19	28	52	16	14	23	13	199
80		吉田 幸広	205	5	30	20	12	29	14	11	17	11	149

令和7年 書面添付実践件数（令和7年9月末日現在）

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和6年実績	令和7年実績									
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
81	小樽支部	足立 竹秀	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
82		澤田 忠宏	38	5	6	2	1	8	5	5	3	3	38
83		戸井 三雄	96	1	9	16	2	23	11	3	3	8	76
84		西 正則	12	0	1	1	1	2	1	2	0	2	10
85	函館支部	奥山 昌弘	19	0	1	5	2	1	2	1	1	1	14
86		佐々木盛一	34	3	4	4	3	6	1	3	0	3	27
87		田村 維之	7	0	1	2	0	2	1	0	0	0	6
88		千田 浩文	6	0	0	0	0	3	0	1	0	2	6
89		西谷 裕幸	17	0	1	0	1	0	0	4	1	3	10
90		蛭子井眞市	34	2	1	0	2	10	0	3	4	1	23
91		細川 拡厚	38	0	5	7	2	10	4	0	2	3	33
92		松山 高治	18	1	5	1	3	1	1	2	1	1	16
93	空知支部	大林 強	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
94		木村 聡	83	2	14	5	8	22	3	4	10	4	72
95		斎藤恵美子	39	0	5	3	3	10	4	5	3	1	34
96		坂本 健人	133	2	30	15	7	34	9	11	6	4	118
97		八幡 吉昭	23	0	5	2	3	5	2	2	0	2	21
98		山田 和訓	98	6	21	12	5	21	3	7	7	8	90
99		旭川支部	薄井タカ子	26	2	3	9	2	3	1	1	2	0
100	尾田 利雄		55	2	12	3	3	14	4	4	5	4	51
101	加藤 一博		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
102	金谷 博光		139	3	21	26	10	32	12	5	8	3	120
103	熊谷 益夫		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
104	小島 拓也		6	0	1	0	0	0	2	0	0	1	4
105	島田 康弘		54	0	5	5	5	21	5	2	4	1	48
106	高橋 愼吾		95	2	17	6	7	24	6	8	9	3	82
107	田村 栄章		52	3	13	0	2	14	6	3	2	0	43
108	舟橋 馨		2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
109	松井 眞実		12	0	0	1	1	4	0	1	0	1	8
110	北見支部		伊東 隆志	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0
111		井山 等	29	0	8	4	4	7	1	2	1	0	27
112		菅原 雅之	4	1	0	0	0	1	0	1	1	0	4
113		中島 茂幸	8	0	0	2	0	2	1	0	0	1	6
114		南都 正弘	15	2	3	0	1	4	0	0	2	1	13
115		渡邊 直喜	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
116	帯広支部	井上 理	31	1	0	1	2	12	4	4	1	1	26
117		梅田 勇	103	4	17	10	10	24	7	7	8	6	93
118		河合 敏	183	8	29	17	15	41	16	11	11	6	154
119		佐藤 達徳	127	2	12	7	11	30	7	7	14	7	97
120		砂原 政広	87	0	12	16	7	26	8	4	2	3	78



支部例会・研修会だより

FROM SAPPORO NISHI, ASAHIKAWA, SORACHI, SAPPORO HIGASHI



支部例会・研修会

8月20日(水)に札幌西支部第1回例会がTKC北海道研修センターで開催されました。

例会開催前には、司法書士法人第一事務所の司法書士・工藤皓也氏を講師に迎え、「税理士も知っておきたい遺産分割の実務」と題し、遺産分割の基本、遺産分割内容決定時に配慮したいこと、特殊な遺産分割協議、数次相続の場合の登記記録について具体例を交えながら、わかりやすく講演いただきました。

支部例会は、会員15名(Web出席1名)、提携・

協定企業から6名に出席いただきました。清水啓雅支部長あいさつの後、各委員会、提携・協定企業、TKC北海道会からの報告がありました。

今回の支部例会では、今後より多くの方に参加いただけるよう、参加人数の増加に向けた取り組みについて意見交換が行われました。

終了後、「もつ串 地鶏 九州料理 芋の華」において懇親会が催され、会員、提携・協定企業との親睦を深める有意義なひとときとなりました。

(札幌西支部 宮腰 雄太)



支部例会、
研修会の様子



懇親会の様子



ニューメンバーズ実践懇談会

9月17日(水)「地酒と旬の肴 四季の蔵 本店」にて、ニューメンバーズ実践懇談会を開催いたしました。

札幌西支部でニューメンバーズを対象にした懇談会は、今回が初めてとなります。

目的は、例会やTKCの会務に参加していただくこと、そして普段なかなか人には聞けない新規開業ならではの悩みの解決に役立てていただきたいという思いで開催しました。

今回は当支部清水啓雅支部長に、TKCの活動についてお話いただきました。

参加者に対しては、バッジ会員を目指していただくこと、そして例会への出席を要請し、その後懇親会へと移りました。

懇親会では、事務所経営についての悩み事や企業防衛について保険推進などの情報交換がされ、食事をしながら活発に意見が交わされました。

最後に11月に開催されるニューメンバーズフォーラム、そして1月に開催されるウインターセミナーのご案内をして、初の実践懇談会は終了いたしました。

今回は4名のニューメンバーズの会員にご参加いただきましたが、今後も5名程度の少数開催でいこうと考えております。

(札幌西支部 國分 啓祐)



支部例会・研修会だより

FROM SAPPORO NISHI, ASAHIKAWA, SORACHI, SAPPORO HIGASHI



定期総会開催される

9月19日(金)、ホテルモントレエーデルホフ札幌にて定期総会を開催いたしました。当日は会員18名が出席し、TKC北海道会からは小中昌幸副会長、宮下直樹副会長、また株式会社TKCからは新垣全センター長、宇佐見洋亮センター長代理にご出席いただきました。

総会は堀内信吾会員の司会で進行し、清水啓雅支部長のあいさつの後、清水支部長が議長に選任され審議が行われました。

第1号議案 令和6年度の事業報告及び決算報告承認の件

第2号議案 令和7年度の事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件

第3号議案 支部規約改定(案)承認の件

各議案について清水支部長ならびに各委員長から報告・提案があり、活発な意見交換ののち、いずれも全会一致で可決承認されました。

続いて、小中副会長より北海道会報告、宮下副会長より札幌国税局による事務所見学会の報告が行われました。

総会終了後は昼食会が開かれ、関東信越統括センターへ異動される新垣センター長よりあいさつをいただきました。

参加いただきました皆さまに心より御礼申し上げます。次回も多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

(札幌西支部 宮腰 雄太)



定期総会の様子



昼食会の様子



第53回定期総会

8月5日(火)に、TKC北海道会旭川支部第53回定期総会を旭川トーヨーホテルで開催しました。

総会前に事務所経営塾が開催され、「事務所経営におけるKFS実践」と題して、TKC北海道会菅野浩副会長に税理士法人加藤会計事務所の取り組みについて講話していただきました。

定期総会は、多田陽平総務委員長の司会で始まり、物故会員への黙とう、支部長あいさつ、来賓紹介、総会成立(会員総数44名中本人出席20名委任状出席21名)の報告がありました。

次に議長として塩地弘光会員が選出され、議事録署名人に高橋あかね会員が指名され、議事に入りました。

第1号議案 令和6年度事業報告及び決算報告承認の件並びに監査報告

第2号議案 令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件

第3号議案 令和7年度役員改選に関する件

各議案について議案説明、質疑応答が行われすべての議案が賛成多数により原案どおり承認可決されました。

議長退席後、TKC北海道会菅野副会長よりご来賓の祝辞をいただき、TKC北海道会小中昌幸副会長からTKC北海道会理事会報告がありました。

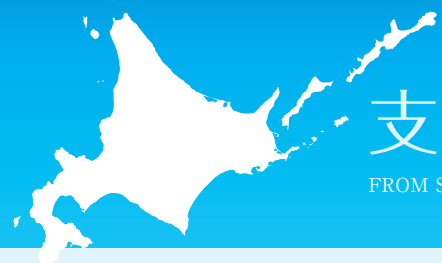
総会後の懇親会は、塩地新副支部長の司会で始まり、TKC北海道会小中副会長よりあいさつをいただき、北洋銀行旭川中央支店吉野弘隆執行役員支店長よりあいさつと乾杯のご発声をいただき開宴となりました。

懇親会は、23名の来賓、提携・協定企業、金融機関の方々にご出席いただき、終始和やかに歓談しました。

閉会のあいさつを、TKC北海道会旭川支部坂本雅明前副支部長からいただき、定期総会・懇親会が無事に終了いたしました。

(旭川支部 舟橋 馨)





支部例会・研修会だより

FROM SAPPORO NISHI, ASAHIKAWA, SORACHI, SAPPORO HIGASHI



定期総会

8月6日(水)に空知支部定期総会を岩見沢市コミュニティプラザで開催いたしました。

定期総会は会員7名の出席のほか、TKC北海道会から澤田忠宏副会長、宮下直樹副会長をはじめ大同生命保険株式会社、大和ハウス工業株式会社、積水ハウス株式会社、TKC旭川SCGサービスセンターにも出席いただき総勢16名での開催となりました。

はじめに支部長あいさつとして八幡吉昭より空知支部の状況報告や、支部会員の人数減少により今後支部会費の増額も検討が必要な旨、また、支部の委員長として北海道会の委員会に所属する会員が減った経緯等の話がありました。

続いて議案の審議に入り、

第1号議案 令和6年度事業報告及び決算承認並びに監査報告

第2号議案 令和7年度事業計画及び予算承認の件

第3号議案 支部役員改選の件

のすべての議案が可決承認されました。本来であれば、木村聡新支部長から一言あいさつを頂戴する

予定でしたが、都合により出席が叶いませんでした。

議案がすべて終了し、来賓を代表して澤田副会長からご祝辞をいただきました。ご祝辞の内容といたしましては、本間貴久会長が道外での会務のため出席が叶わなかった旨、支部予算も大変厳しいことを理解したので北海道会としてもできる範囲で考慮したい旨、全国役員大会が札幌で無事開催できたことのお礼、人数の少ない支部においては委員会の兼務等が多いためそれに配慮して支部として全ての委員会に支部委員長を出さなくてもいい体制へ変更した旨等のお話がありました。

次に報告事項では、北海道会報告として宮下副会長にご報告いただき、その後、委員会報告、提携・協定企業報告があり定期総会は終了いたしました。

懇親会は、木村新支部長にご予約いただいた「酒彩ひ田まり」において、行われました。お刺身をはじめ、天ぷら、お寿司、うなぎまで出していただき、参加者全員感激しておりました。その後、2次会の席も木村新支部長にご予約いただいた「スナックビギン」において開催し、皆さま岩見沢の夜を満喫され盛会のうちに終了いたしました。

(空知支部 八幡 吉昭)



懇親会の様子



第28回定期総会開催

9月19日(金)ホテルモントレーエーデルホフ札幌にて、午前10時30分より札幌東支部定期総会が、総会員146名中、当日出席会員28名、委任状出席会員78名、合計106名、支部規約第21条「総会の定足数は個人会員の2分の1以上出席(委任状を含む)とする。」より定足数を満たし、同日午後開催の北海道会第53回定期総会・政経研究会第46期定期大会に先立ち開催されました。

まずは住吉赳夫副支部長から開会の辞、次いで市川善明支部長からあいさつがあり、議長に遠藤昭一会員を選出、議案の審議に入りました。

第1号議案の「令和6年度事業報告及び決算報告」については、佐藤博嗣総務委員長より、会議・支部例会等の開催、各委員会の活動、令和6年度決算報告が行われ、監事報告後、質疑応答・

採決により当該議案は、賛成多数により可決・承認されました。

引き続き、第2号議案の「令和7年度の事業計画(案)及び収支予算(案)」について審議が行われました。その後、質疑応答・採決により当該議案は、賛成多数により可決・承認され、これにより、すべての審議は滞りなく終了しました。

議案審議後の別件、第52回全国役員大会の北海道新聞広告費用を一部札幌東支部から負担する案についての質疑応答では、北海道会が負担すべきであるという指摘がありました。

最後に、北海道会報告、各委員長より委員会報告があり、柳川英樹副支部長による結びのあいさつにて総会は定刻に終了しました。

(札幌東支部 谷口 卓弥)



原点の会

9月29日(月)、原点の会がTKC北海道会センターにて行われました。

高橋宗寛和尚を講師として、TKC基本理念25項目と、『会計人の原点』を読み進めています。今回は基本理念15と、会計人の原点189頁目から読み進めました。

TKC基本理念15.

TKC会計人は、現行の職業法規に欠落している会計人に対する援護施設の整備(ドイツ税理士法におけるfursorgereinrichtungenの条項の如き)を、自主的な団結の力で団結しようとしている集団である。

ドイツ税理士法についてchatGPTで調べてみました。ドイツ税理士会は公的権限が強く、半官半民的な組織だそうです。それは、税理士の地位・名誉・独立を守ること、税理士の経済的・職業的利益を代表すること、税理士の業務実務を助言・支援することを行っています。

税理士会や関連団体では、会員とその家族・遺族を対象とする強制加入の共済制度や年金制度(Versorgungswerke)を運営しており、家族を守るための仕組みが整えられています。

Versorgungswerkeは、ドイツの税理士を含む「自由職業者」のための独立した年金・共済制度であり、本人・家族の生活保障を目的にしています。

特に遺族年金や職務不能年金によって、税理士の本人・家族を守る規定がしっかりと整備されているのが特徴です、とありました。

税理士本人が亡くなったあと、家族や職員の立場を保障するものが何もないと、生前よりお金に執着するしかなく、社会から真に尊敬される職業とはなり得ないかもしれません。

そこで飯塚毅名誉会長は、政府や国会が動いてくれないからと傍観するのではなく、TKCに独自の見舞金支出に関する厚生制度を作ったそうがあります。

飯塚名誉会長は貧しい家の生まれでありましたが、自らの境遇を恨むことは一切無く、その境遇を改善するために何をすべきなのかを考えなかったそうであります。

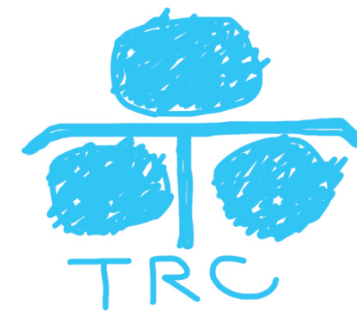
環境がないのであれば環境を整えればよい、との想いで作られた仕組みが今も続いているかと思えます。

高橋和尚が言った、暗いと不平を言うよりも進んで明かりをつけましょう。という言葉が印象的でした。

会計人の原点は、193頁第3章本論、人生の目的は何か、という非常に深いテーマに入りましたので、次回もしっかりと勉強をしていきたいと思えます。

今回は、11月25日が会員の部、11月26日が職員の部になります。

(札幌東支部 佐藤 博嗣)



▲TRC旗。予算がないため、手書で作成し、A3用紙にカラー印刷である。ご支援お待ちしております!

さかのぼること令和6年12月11日。有志が集まり、札幌市内某所とある組織の初会合が行われました。

その組織は、名誉会長に本間貴久TKC会長、会長に山谷謙太会員が就任する、至って真面目な団体。その名は、TKC北海道会【非公認】団体TRC(TKC・Running・Club:TKCランニングクラブ)。非公認なので、もちろん予算はゼロ。

令和7年になって、定期的にトレーニングが行われてきました。今日はその活動の一部をTKC北海道会の会員および提携協定企業の皆さまにご紹介します。

令和6年12月11日 第1回トレーニング

○カーボローディングトレーニング

○参加クラブ員 9名

エネルギー源であるグリコーゲンを体内に多く貯蔵するための運動量の調節と栄養摂取を行う。競技中にエネルギー不足を起こさないようにして持久性パフォーマンスを高める効果がある。言い換えると、単なる飲み会である。



令和7年4月27日 第2回トレーニング

○白石サイクリングロード

○プロミッサトレーニング ○参加クラブ員 7名

トレーニングシーズンの始まりを、柔らかに花が咲くように身体の調子を整えるトレーニング。変化を楽しみながら徐々に心拍を上げていくことで、無理なく日々のランニングトレーニングに耐えられる身体を作る効果がある。言い換えると、単なるお花見である。

途中、ダイワ&積水の豊平モデルハウスでピンポンダッシュし、勝手に資産活用委員会活動をした。





第2回トレーニングの様子

令和7年6月8日 第3回トレーニング

○モエレ沼公園

○ペース走 ○参加クラブ員 7名

設定したペースを一定に保ちながら走るトレーニング。マラソンなどの持久力向上や、レースペース感覚の習得に効果がある。設定するペースや距離によって、さまざまなトレーニング強度のペース走を行うことができる。至って真面目なトレーニング法である。

トレーニング途中、フルマラソンのペースについてわかりやすく理解するために、TKC継続MASシステムを徹底活用した目標タイム設定について、座学により解説がなされた。



令和7年7月6日 第4回トレーニング

○手稲前田森林公園

○北海道マラソンシミュレーションラン

○参加クラブ員 8名

夏のイベントの一つ北海道マラソン。毎年回収バスとの感動のドラマが繰り広げられる新川通。本番に向けて感動のコースの一部を下見した。この日はとても暑い日。一部クラブ員から熱中症の疑いがあると申出があったが、なんと信じられないことに、このクラブ員はTKC団体保険傷害総合保険(熱中症特約付き)未加入。TRCは予算がなく団体傷害保険に加入しないので、自己責任で企業防衛とTKCリスマネ団体保険に加入願います。



令和7年8月3日 第5回トレーニング

○美香保公園～山谷TRC会長ご邸宅

○アミノローディングトレーニング

○参加クラブ員 16名(オブザーバー含む)

3クラスに分かれて集合場所に集まり、Mクラスは北海道マラソンコースの一部を下見し、途中で北海道有数の観光スポット(※本間会計事務所)で記念撮影をしつつ目的地に向かった。目的地の山谷TRC会長ご邸宅では、アミノローディングトレーニングを行った。言い換えると、おさんぽ付BBQ大会である。

途中、上記の北海道有数の観光スポットでピンポンし記念撮影を行った。事務所経営には事務所のセキュリティが重要であることを、あらためて確認することができた。



令和7年8月31日 第6回トレーニング(大会)

○北海道マラソン

○参加クラブ員 21名

(応援・オブザーバー・ダイワハウスの皆さま含む)

TRC今年度の目標の一つ、北海道マラソン。日頃の練習とお布団からの応援の成果を発揮する大切な日。TRCではダイワハウスの協力のもと私設エイドを設置し、万全の体制でクラブ員の皆さまをご支援させていただきました。

とても熱い中で行われた今年の北海道マラソン。恒例の山谷TRC会長のありがたいお言葉を受け、クラブ員一同気持ちを高めてレースに挑みました。目標を達成できたクラブ員と残念ながら達成できなかったクラブ員がいると思います。来年も北海道マラソンとTRCトレーニングは開催予定ですので、積極的なご参加お待ちしております。



令和7年9月14日
第7回トレーニング

- 藻岩山～南優香TRC副会長事務所
- 北海道マラソンリカバリトレーニング
- 参加クラブ員 17名(オブザーバー含む)

2部構成2～3クラスにわかれて集合場所に集まり、1部は藻岩山トレイルランニングトレーニング、2部は南優香TRC副会長事務所をお借りして、北海道マラソンリカバリトレーニングを行った。言い換えると、大会の打ち上げBBQである。

2部では事務所見学会を兼ねて実施し、将来事務所をどのように拡大させていくべきか、一部クラブ員は心地よい夢の中で説明を聞くことができた。



TRCはこれからも小ネタをぶっこみながらトレーニングに励みます。TRCに興味を持たれた方は、TRC規約(紙面の都合上、一部抜粋)をご確認の上、いつでもクラブまでお問合せください。

来年の大会は、TRCクラブ員がおそろいユニフォームとちゃんとしたTRC旗をもって参加できるよう、ご支援お待ちしております。(TRC 企画広報 岩田 圭史)

規約(一部抜粋)

第4条 TRCの会費は、企画の都度、実費徴収する。なお、自主的に必要以上の会費を納入することを妨げない。

第6条 本会の会員は、企画の都度、別途案内する方法で出欠回答をし、すべての企画に参加する義務を負う。なお、原則として、出欠回答方法は以下のとおりとする。

- ①走る ②応援する ③現物等で応援する ④お布団の中から応援する

【参考:勝手に委員会活動開催履歴】

- ・企業防衛委員会 7回
- ・リスマネ委員会 7回
- ・資産活用委員会 3回
- ・中小企業支援委員会 1回
- ・巡回監査事務所経営委員会 2回

今回のこのTRCの記事については、非公認サークルであるため、本来は4ページも割くところではないかと思いますが、会員同士または提携・協定企業との新たな交流の場であること、そしてその元気の良い活動をぜひとも会員の皆さまにお伝えしたいと考え、このような次第となりました。(広報委員長 坂本 文彦)



北海道での経験が 今の私を支えています!

リーガルデータベース営業本部 電子データ制作部 河口 佳央

北海道会の会員の皆さま、職員の皆さま、大変ご無沙汰しております。2018年4月に入社して北海道センターへ配属されてから、2022年9月までの4年半、大変お世話になりました。私が北海道センターを離れてから、早いもので3年が経過いたしました。

北海道センターでは、札幌東支部、札幌西支部、函館支部を担当させていただきました。当時は知識も経験もなく、お役に立つことができませんでしたが、いつも温かく見守ってくださった皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。この場をお借りしてあらためてお礼申し上げます。

北海道センターを離れた後は、新潟センターでSCGとして勤務し、新潟市、長岡市、佐渡市などを担当いたしました。新潟での一番の思い出は、長岡花火を観に行ったことです。

長岡花火は、日本三大花火大会のひとつで、慰霊・復興・平和への思いが込められています。



長岡空襲の慰霊花火「白菊」の打ち上げから始まり、最大の見どころは「復興祈願花火フェニックス」です。



中越地震からの復興を祈願し、全国からの支援に感謝を伝えるために、世界一の誇れるような壮大な花火を打ち上げたいという市民の想いからスタートした花火だそうです。携帯の画面に収まりきらないほど空一面に花火が広がり、その迫力に圧倒されました。毎年8月に開催されますので、機会があればぜひ新潟へ足を運んでみてください!

現在は東京本社のリーガルデータベース営業本部で勤務し、判例データの制作や、判例解説記事の編集を担当しております。当部門では、法律情報データベース「TKCローライブラリー」を中心に、会計事務所、法曹界、大学・大学院、企業法務部などに向けたサービスを提供しています。「TKCローライブラリー」はProFITのオプションサービスとして提供しておりますので、ぜひご利用ください!

2回の異動を経験しましたが、いつも思い出するのは北海道センターでの楽しく充実した日々です。いつかまた、皆さまとお仕事で一緒にできる日が訪れることを願い、これからもより一層努力してまいります。最後になりますが、北海道会の会員の皆さま、職員の皆さまのますますのご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

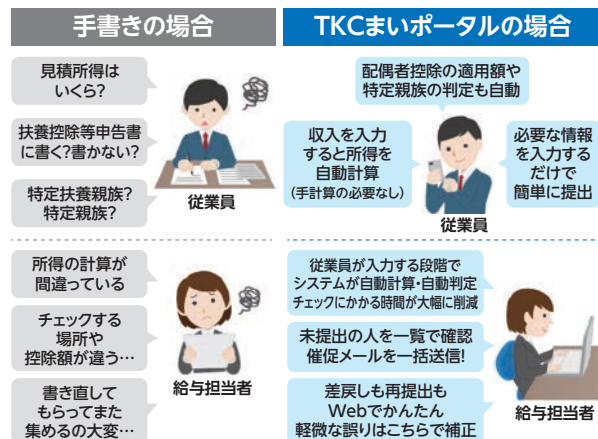
知って得する TKCシステム



年末調整業務前にTKCまいポータルのご案内ください！

TKC旭川SCGサービスセンター センター長 阿部 陽介

1. TKCまいポータルの活用場面



2. 年末調整のための扶養控除等申告書等についてのご注意（チェックリスト）

記載漏れがあると控除を受けられず、誤りがあると控除額が減ることもあります。

従業員に申告書の記載内容を確認・注意していただくために、「年末調整のための扶養控除等申告書についてのご注意」を出力できるようにします。

これにより、従業員が扶養控除等申告書等の記載内容をセルフチェックできます。

2 □家族を扶養している。

□これまで年収（給与収入のみの場合）が150万円を超えるため、扶養控除等申告書に記載していなかった配偶者がいる。
注意：年収が160万円以下であれば、今年から扶養控除等申告書に記載してください。

□これまで年収（給与収入のみの場合）が103万円を超えるため、扶養控除等申告書に記載していなかった家族がいる。
注意：年収が123万円以下であれば、今年から扶養控除等申告書に記載してください。
□令和7年末時点で19歳～22歳で年収（給与収入のみの場合）が103万円を超える家族がいる。
注意：年収が188万円以下であれば、今年から特定親族特別控除申告書に記載してください。

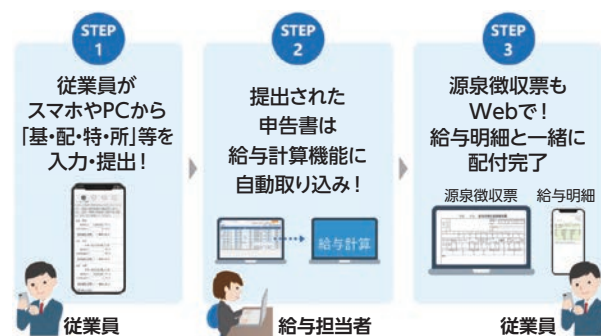
5 □令和8年（翌年）末時点で19歳～22歳となる家族を扶養している。
注意：令和8年分（翌年分）扶養控除等申告書の「特定扶養親族」欄又は「特定親族」欄にチェックを付けてください。
・年収（給与収入のみの場合）の見積額が123万円以下：「特定扶養親族」にチェック
・年収（給与収入のみの場合）の見積額が123万円超165万円以下：「特定親族」にチェック

※PXシリーズ、FXクラウドシリーズ給与計算機能、TPS9000に搭載します。

従業員が1つ1つ確認しながら正しく申告書を書けるように給与担当者が周知・指導するのはとても大変であると考えます。

3. TKCまいポータルの活用をおすすめする理由

年末調整業務が3つのステップで完了します



《TKCまいポータルをご利用いただくメリット》

- 給与担当者が、申告書を印刷・封入・配付する作業がなくなる。
- 従業員は、申告書の難解さを理解しなくても入力できる。
- 給与担当者が、申告書を回収して入力する作業がなくなる。
- 申告内容の誤りが減り、従業員への確認作業も減る。
- 電子で保管するため、紙の保管が必要ない（7年間保存）。

4. 関与先支援を効率化

FXクラウド給与計算機能で年末調整の関与先支援を効率化できます。関与先と同じデータをクラウド上で確認できるため、

- 関与先の不明点等に対応できます。
- 年末調整の進捗状況をリアルタイムに確認できます。
- 年末調整データの作成・TPS9000への読み込みがスムーズに行えます。

万全な体制で「年収の壁」に伴う業務負担を軽減できることを関与先へ伝えていきましょう！

令和7年10月 株式会社TKCの支援体制 TKC北海道会と会員事務所を全力でご支援します！

北日本統括センター

統括センター長
喜藤 晋司

北海道SCGサービスセンター



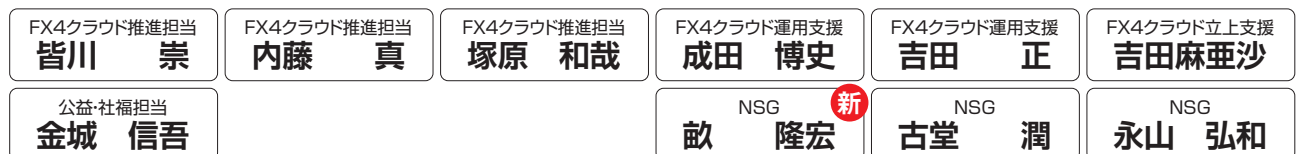
帯広SCGサービスセンター（帯広・釧路支部担当）



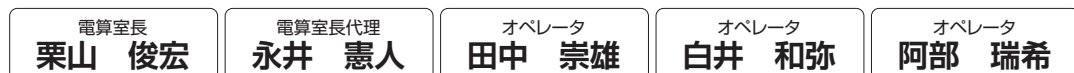
旭川SCGサービスセンター（旭川・空知・北見支部担当）



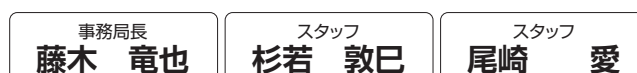
北日本統括センター



北海道統合情報センター



北海道会事務局



令和7年
9月

日	行事名
2	租税判例研究会
4	現場力養成講座
5	北見支部総会
8	資産活用委員会 大和部会推進会議・特別研修会
9	正副会長会
10	帯広支部総会
10	苫小牧支部総会
11	北医研修会
16	資産対策研究会
19	北海道会定期総会
19	北海道政経研究会定期大会
19	札幌東支部総会
19	札幌西支部総会
19	金融機関との合同研修会
25	函館支部 秋季大学実行委員会
29	農業経営研究会研修会
29	原点の会（会員）
30	原点の会（職員）

令和7年
10月

2	各委員会
3	各委員会
3	秋季大学
4	秋季大学ゴルフ
6	小樽支部例会
9	書面添付プレミアムセミナー
10	正副会長会
10	理事会
10	顧問・相談役・参与会
14	共済Web研修会（小規模企業共済）
15	共済Web研修会（倒産防止共済）
16	広報委員会
17	タックスフォーラム2025
20	釧路支部50周年記念行事
25	資産活用委員会 積水部会視察研修旅行（～27日迄）
30	広報委員会

新入会員の紹介

NEW
MEMBER

みち やま ち はる
道山 千春（札幌西支部）

令和7年8月18日入会

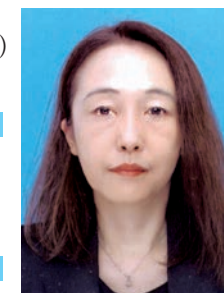
事務所住所

〒064-0806
北海道札幌市中央区南6条西16丁目1-20
プログレス616華茗8

道山千春税理士事務所

プロフィール

- 出身地／札幌市
- 前職／税理士事務所
- 趣味特技／ピアノ（特技とは言えません）
- 夢・ひとこと／これまでお世話になった方々へのご恩に報いるべく、
税理士としての責務を果たし、
皆さまのお役に立てるよう尽力してまいります。



過去の『かいほう』が読めます。（214～261号）

「TKC北海道会」と検索するか、表紙または右のQRコードから
アクセスしてください。（広報委員会）



編集後記

羊ヶ丘のふもとから〇〇を叫ぶー編集後記に代えてー

editor's note

〇AIは「親友」利用者の6割～電通、1,000人調査という北海道新聞の記事。かいほうの校正作業でもごくたまにお願いする、会議報告用にまとめてもらう、業務上での問題解決のための道筋を確認するなどで使うことはある。しかし、今のところは「感情を共有できる」とか「あだ名をつける」とかちょっと気持ち悪い。普段から、本当はどうなんだ、ということを常に考える商売柄、インターネットの情報しかり、AIからの情報も本当にそうなのか、疑ってしまう。秋季大学の特別講演の美馬のゆり先生がおっしゃっていた「AIリテラシー」を身に付けないと、人間、本当に大丈夫かということになりかねない。「〇〇社長から電話です」「××先生ちょっと教えてほしいんだけど（税務の話じゃないし）」あっ、私は社長のAIか。そんな関係性でありたい。

〇会社経営はドラゴンクエスト。目標を定め、盾と剣を持ち、魔法をかけ、時には呪文を唱える。仲間を助け、仲間に助けられ、進んでいく。その中で本来の業務は「剣」、そして会は「盾」。ただ闇雲に剣を振り回している人が多く見受けられる。防御しないと、戦いには勝てない。それは過去も現在も未来も同じだと思う。

（広報委員長 坂本 文彦）